

2025 年度

せんだいメディアテーク年報
sendai mediatheque annual report



せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

はじめに

開館から25年を迎えた2025年度、12年にわたり館長を務めた鷺田清一氏の後任として、日本文学研究者のロバート キャンベルが就任しました。国内外を拠点とし多様な視点を持つ新館長のもとに活動を進めた本年度は、せんだいメディアテークにとって、さまざまな節目が重なり合う一年でした。

「3がつ11にちをわすれないためにセンター（わすれん!）」では、東日本大震災から15年という時間が経過する中で、市外の団体との協働が多く生まれました。災害や災禍が続くなかで、「記録すること」「記憶をのこし続けること」の意味をあらためて考える機会となりました。

市民協働型プロジェクト「メディアスタディーズ」においても、いくつかの活動が節目を迎えました。「みやぎシネマクラドル」は立ち上がりから10周年となり、記念として『ドキュメンタリー・ダイアログス～作り手と市民が繋ぐ未来への対話～』を発刊。宮城にゆかりのある映像の作り手とその活動を応援する市民が繋がるコミュニティとしての歩みをまとめました。

また、2022年度より取り組んできた「結婚の定義」は、この年度をもってひとつの区切りを迎えました。「結婚」という身近でありながら複雑なテーマを市民とともに問い続けてきたこの活動は、これまでに多くの対話の場を生み出しました。異なる立場の人びとが交わる試みは、メディアテークが「節点（ノード）」として機能することの意味を、あらためて示していたように思います。

せんだい・アート・ノード・プロジェクトでは、活動の一つである「川俣正／仙台インプログレス」が10年目を前に記録集を発刊し、沿岸部の変化に応じながら住民や活動者、在仙アーティストらと取り組んできたこれまでの歩みをまとめました。

展覧会「もうひとつの森」では、建築ユニットo+h（大西麻貴+百田有希）の空間デザインにより、これまで継続してきた市民協働や、多様なプロジェクトの取り組みが一堂に会しました。開館以来、メディア、地域文化、市民活動など、異なる領域を横断しながら築いてきた実践が、現在へどのようにつながっているのかを見つめ直す場となりました。

もちろん、新たなはじまりの年でもありました。定禅寺通のにぎわい創出に向けた「オン・ディスプレイ」では、仙台・宮城にゆかりのある2名の作家の作品を館内に展示しました。秋には「マンガテーク」と題し、1fオープンスクエアに約8000冊の漫画を設置。こどもたちが自由に過ごせる居場所づくりをおこない、未来を担う若い世代の創造力を豊かにする活動に取り組みしました。

四半世紀が経ち、様々な節目が重なった今年度。地域とともに積み重ねてきたこれまでの歩みをふり返りつつ、次の節目に向けてみなさまとより良い場を作ってまいります。

2026年9月

1	文化・芸術への取り組み	
1-1	展覧会 もうひとつの森「なにもしない」からはじめるメディアテーク	07
1-2	せんだい・アート・ノード・プロジェクト	13
	1 川俣正／仙台インプログレス	
	2 藤浩志／ワケあり雑がみ部	
	3 笹原晃平／社会実践ポストボン	
	4 大縁会	
	5 MEETING	
	6 TALK	
1-3	資源循環の杜へ せんだいリポート	27
1-4	ロバート キャンベル館長 トークセッション	30
	1 「ずんだと牛タン」 ―ぼくに仙台のことを教えてください―	
	2 Unbroken 傷ついても壊れてはいない	
1-5	smtシネマ	32
	1 映像の仙台史5	
	2 リシャール・コパンス『せんだいメディアテーク』ふたたび	
	3 100年／Imagination	
	4 ゆるゆるシネマ	
1-6	せんだいデザインリーグ2026 卒業設計日本一決定戦	36
1-7	ショートピース!仙台短篇映画祭2025	38
1-8	こどもわかものプロジェクト	40
1-9	オン・ディスプレイ	41
2	協働と支援	
2-1	メディアスタディーズ	44
	1 てつがくカフェ	
	2 ユースてつがくカフェ	
	3 民話 声の図書室	
	4 みやぎシネマクラドル	
	5 結婚の定義	
	6 活版印刷工房	
	7 たてもの観察同好会	
	8 せんだいシネバトル	
	9 耳活朗読会	
	10-20 そのほかのプロジェクト	
2-2	バリアフリー・デザイン	65
	1 としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示	
	2 手ではなすおはなしの会	
	3 ゆるゆるシネマ	
	4 スウプノアカデミア2025	
	5 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台	

- 6 図書館はじめてツアー
- 7 情報保障・託児サービス等の取り組み

3 コミュニティ・アーカイブ

- 3-1 3がつ11にちをわすれないためにセンター 75
 - 1 星空と路ー3がつ11にちをわすれないためにー
 - 2 常設展示「わすれん!資料室」
 - 3 外部機関への主な協力出展等
- 3-2 コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリー 80
- 3-3 地域資料の収集 82
 - 1 資料の収集・整理
 - 2 資料の活用

4 さまざまな連携

- 4-1 仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)..... 85
- 4-2 定禅寺通イベント共催事業等 87
 - 1 仙台・青葉まつり「お祭り広場」
 - 2 とっておきの音楽祭2025
 - 3 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
 - 4 smtオープンカフェ
 - 5 メディアテーク de ちびぱーく
- 4-3 学校との取り組み 93
- 4-4 仙台市民図書館との取り組み 93

5 ライブラリー・サービス

- 5-1 映像音響ライブラリー 96
- 5-2 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー） 96
- 5-3 インターネットを通じた資料提供 97

6 本・DVD等の発行物

- 6-1 書籍や報告書等の印刷物 99
- 6-2 DVDメディア等の映像音響資料 99
- 6-3 紙やインターネットを通じた定期発行等 101
- 6-4 その他常備している印刷物 101

- 7 イベント一覧(時系列) 103

8	施設運営	
8-1	施設概要	109
8-2	沿革	109
8-3	収支	110
8-4	施設使用実績	110
8-5	仙台市メディアテーク条例	111

+

—

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

1

1-1

展覧会

もうひとつの森 「なにもしない」から はじめるメディアテーク

開館から四半世紀を迎えたせんだいメディアテークの建築空間を、気鋭の建築家ユニットo+h(大西麻貴+百田有希)が「森」をモチーフに新しい居場所としてデザイン。「なにもしない」ことを起点に、展示空間を誰もが自由に滞在できる「もうひとつの森」へと転換しました。効率や目的、役割を求められ続ける現代社会に対し、あえて立ち止まり、遊び、対話する時間と場を提示。展示と多様な実践を重ねながら、公共空間のあり方そのものを問い直し、居場所の可能性を探りました。これまでメディアテークを拠点に繰り広げられてきたさまざまな市民活動が一つひとつのエLEMENT(素子)として、ギャラリー内での展示やイベントとして示すだけでなく、建物全体にも展開されました。



会期：2025年11月1日(土)-11月30日(日) 各日 11:00-19:00

会場：6f ギャラリー 4200

入場・参加者数：8,107 名

入場料等：無料

特別協力：株式会社オカムラ、三協立山株式会社、株式会社シェルター、大光電機株式会社、太陽工業株式会社、田島ルーフィング株式会社、株式会社中川ケミカル

助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団、独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：NHK 仙台放送局、khb 東日本放送、仙台放送、tbc 東北放送、ミヤギテレビ、朝日新聞仙台総局、河北新報社、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、毎日新聞仙台局、読売新聞東北総局、せんだいタウン情報 S-style、仙台リビング新聞社、Date fm、ラジオ3FM76.2MHz

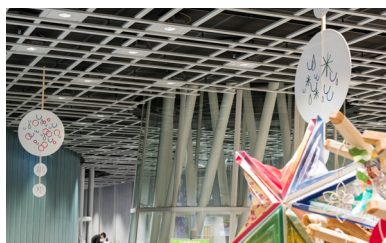
[展示内容]

- ①「ワケあり雑がみ部」の作品展示
- ②「社会実践ポストボン」の展示、チケットセンター
- ③「みやぎ民話の会」が集めた民話語りが聞こえる、みんなハット
- ④「活版印刷研究会」の作品や印刷機、道具の展示
- ⑤原っぱを模した場
- ⑥「仙台建築都市学生会議」による「何もしない」でも過ごせるカフェ
- ⑦メディアテークにまつわる「言葉の雨」
- ⑧「在来作物プロジェクト」による野菜や種子資料の展示
- ⑨浜辺を模した場
- ⑩「TURNAROUND」による工房「道具の図書館」
- ⑪光を反射する曲線型のテーブル
- ⑫自由に本が読める「本の鳥」
- ⑬「AFFORDANCE inc.」による各展示をイメージしたアイコンのサイン



[主な出展者]

o+h(大西麻貴+百田有希)、AFFORDANCE inc.、NPO 法人エイブル・アート・ジャパン、活版印刷研究会、TURNAROUND、知る 続く 在来作物プロジェクト、社会実践ポストポン、仙台建築都市学生会議、てつがくカフェ@せんだい、みやぎ民話の会、ワケあり雑がみ部



[関連企画]

オープニングセレモニー

o+hの二人とAFFORDANCE incの平野篤史氏、館長のロバートキャンベルが、本展のコンセプトや館全体を用いた展示内容についてお話ししました。

会期：2025年11月1日(土)

15:00-16:30

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：50名

入場料等：無料

出演：o+h、平野篤史氏、ロバートキャンベル(せんだいメディアテーク館長)



SDLもとくになにもしないcafe

毎年3月に開催される「せんだいデザインリーグ 卒業設計日本一決定戦」を運営する仙台建築都市学生会議のスタッフが、カフェを開き、子どもから大人まで自由に過ごせる場をつくりました。

会期：2025年11月1日(土)-11月3日(月・祝)、11月22日(土)-11月

24日(月・休)各日14:00-16:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：314名

入場料等：無料

協力：仙台建築都市学生会議



社会実践ポストポン「ご飯を食べるプロジェクト」(後述)

会期：2025年11月1日(土)-11月7日(金)各日14:00-17:00

会場：6fギャラリー 4200、

せんだいメディアテーク周辺地域

入場・参加者数：153名

入場料等：無料

協力：創作ダイニング As/アズ、ラグレス、Gallery TURNAROUND、amnt(あむんと)

ワケあり雑がみ部

せんだい・アート・ノード・プロジェクトでおこなわれてきたアーティストの藤浩志氏による部活動。手を動かし、人と人が関わる体験が生まれる場となりました。

会期：2025年11月7日(金)、
11月8日(土)各日11:00-16:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：61名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局



あそびとまなびの森

スウプノアカデミア

—みんなでつくるミュージカル—

「まぜると世界がかわる」をコンセプトに、障害のある人と一緒に生涯学習の場をつくる「スウプノアカデミア」(企画：NPO法人エイブル・アート・ジャパン)で制作したミュージカル『FISH』を、ギャラリーを舞台にして再演しました。

会期：2025年11月8日(土)

14:00-16:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：35名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

協力：NPO法人エイブル・アート・ジャパン



第96回てつがくカフェ

「わたしのなかにある戦争」

これまで7fスタジオを主な会場として回を重ねてきた「てつがくカフェ」。ギャラリーに移設された「考えるテーブル」にて、仙台在住の井上きみどり氏のマンガ・エッセイ『爆弾と私のランドセルと白いごはん』を読み、「わたしのなかにある戦争」をテーマに参加者が考えを深めました。

会期：11月9日(日)14:00-16:30

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：18名

入場料等：無料

協力：てつがくカフェ@せんだい、
井上きみどり氏(漫画家)



よーし・えんぐみ cafe

仙台市内で特別養子縁組への理解を深めるための活動に取り組むよーし・えんぐみcafe-sendaiのファシリテーションにより、家族のあり方や子どもをめぐる選択肢について考えました。

会期：2025年11月11日(火)

11:00-12:30

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：10名

入場料等：無料

協力：西公園プレーパークの会、
よーし・えんぐみcafe-sendai



活版ワークショップ

「カードにひらがなを印刷してみよう」

本展のために地下階からギャラリーへ移設・展示した活版印刷機を使って、活版印刷研究会のメンバーの手ほどきによりカードに文字を印刷する体験をおこないました。

会期：2025年11月15日(土)、

11月16日(日)各日13:00-15:00

会場：6f ギャラリー 4200

入場・参加者数：100名

入場料等：無料

協力：活版印刷研究会



6fギャラリー ミニトーク

せんだいメディアテークを設計した伊東豊雄氏をギャラリーに迎え、この建築空間の設計者として、また、先輩建築家として、o+hへの忌憚ない批評と対話を繰り広げました。空間論を交えて意見を交わすトークとなりました。

会期：2025年11月16日(日)

15:45-16:30

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：50名

入場料等：無料

出演：伊東豊雄氏(建築家)、o+h、
ロバート キャンベル



o+h サプライズギャラリーツアー

「もうひとつの森」というコンセプトが掲げる触発的な場の実践の一例として、o+hと本展担当学芸員によるギャラリーツアーをおこないました。

会期：2025年11月24日(月・休)

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：28名

入場料等：無料

出演：o+h、清水有(せんだいメディアテーク)



1-2

せんだい・アート・ノード・プロジェクト

art node

せんだい・アート・ノード・プロジェクト(アート・ノード)とは、「優れたアーティストのユニークな視点と仕事」と、地域の「人材、資源、課題」をつなぐアートプロジェクト。アーティストが、仙台・東北をリサーチし、同時代性のある現代アート作品を制作、さまざまなプロジェクトを展開しました。調査、企画、制作、発表までの過程を人々と共有し、鑑賞にとどまらない活動への接点をつくることで、より多くの人が関わり、熱のある「アートの現場」を仙台につくりだす取り組みです。

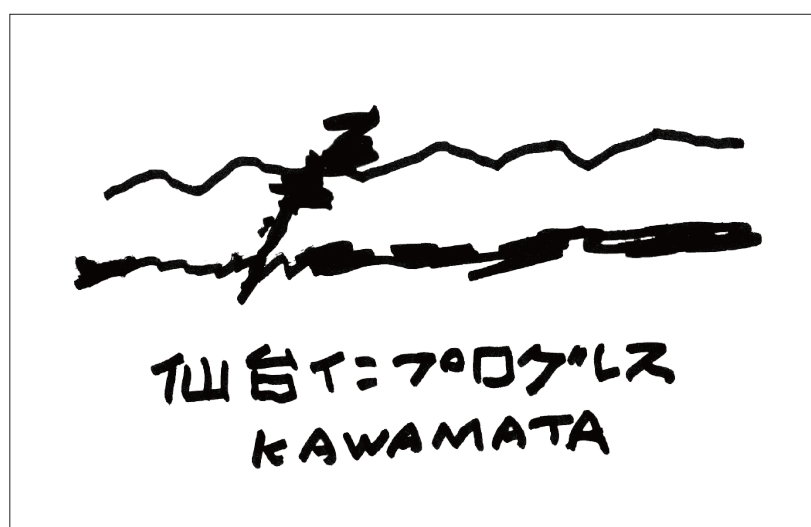
1-2-1

川俣正／仙台インプログレス

フランスを拠点に国際的な活動をおこなっているアーティスト川俣正が、東日本大震災で被害を受けた仙台市沿岸部で2016年に開始したプロジェクト。2025年度は、昨年度に引き続き宮城野区新浜地区と若林区井土地区の2ヶ所で活動を実施しました。

会期：通年

協力：新浜町内会、貞山運河倶楽部、井土町内会、井土まちづくり推進協議会



[イベント]

《新浜ペリスコープ》の制作

津波で被災した仙台市沿岸部、宮城野区新浜地区でプロジェクトを継続して展開。牛島達治氏(美術家)が主催する汎用技術研究所のアーティストらとともに、海と山の景色を眺めるための作品《新浜ペリスコープ》を制作しました。

会期：2025年5月16日(金)-10月27日(月)

会場：仙台市宮城野区岡田砂山

入場・参加者数：84名

協働：汎用動力研究所(牛島達治氏、八木温生氏、何梓羽氏)



《新浜ペリスコープ》お披露目会

提灯堀に再建された「やけつ橋」の隣にできた《新浜ペリスコープ》。制作者と新浜町内会や活動する団体とともに作品のお披露目会を開催しました。

会期：2025年10月28日(火)14:30-15:30

会場：仙台市宮城野区岡田砂山

入場・参加者数：40名



川俣正／仙台インプロGRESS

報告展 2025

2016年のリサーチからこれまでの活動をスケッチ、写真などで振り返るとともに、《新浜ペリスコープ》について、設計図面や記録映像をもとに紹介しました。

会期：2026年3月3日(火)-

5月27日(水)各日9:00-22:00

会場：1fエレベーター周辺、
7fラウンジ

入場・参加者数：32,528名

入場料等：無料



[主な協力等]

Temporary Commons 実行委員会・
貞山運河倶楽部・となりの畑
「新浜 貞山運河小屋めぐり」
(企画協力)
会期：2025年5月18日(日)、
9月14日(日)、11月16日(日)
各日9:40-12:30、
2026年3月15日(日)9:45-12:00
会場：仙台市宮城野区岡田
新浜地区

新浜町内会・Temporary Commons
実行委員会
「貞山運河の渡し舟と新浜フットパ
ス2025」
(企画協力)
会期：2025年10月5日(日)
10:00-12:30
会場：仙台市宮城野区岡田
新浜地区

新浜町内会・Temporary Commons
実行委員会
「新浜トークイベント 2025」
(企画協力)
会期：2025年12月7日(日)
13:00-15:00
会場：せんだい3.11メモリアル交
流館 1f交流スペース

Temporary Commons 実行委員会・
貞山運河倶楽部
「貞山運河フォーラムー貞山運河界
隈の新たな交流をつくるー」
(企画協力)
会期：2026年2月23日(月・祝)
13:00-15:00
会場：仙台市市民活動サポートセ
ンター 6f セミナーホール

1-2-2

藤浩志／ワケあり雑がみ部

不要物を利用した作品やシステムづくりで知られるアーティストの藤浩志氏によるプロジェクト。仙台市のごみ分別区分のひとつである「雑がみ」を使って、誰もが各々の関心や興味のもと、分別したり、何かを作ったり、デザインなどを自由に楽しみました。今年度は多くの団体参加もありました。

会期：2025年5月17日、6月13日、6月14日、7月11日、7月12日、8月22日、8月23日、9月12日、9月13日、10月24日、10月25日、11月7日、11月8日、12月12日、12月13日（5月を除き毎月金・土1日ずつ、10:30-16:00開催/全15回）、会場：7fスタジオb

※11月は6fギャラリー 4200（展覧会「もうひとつの森」会場内）で開催

入場・参加者数：703名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局



[イベント]

「雑がみ」雑だんタイム

ワケあり雑がみ部の参加者とともに、これまでの活動を振り返り、今後の活動に向けて実現したいことなどを話し合いました。

会期：2026年1月17日(土)

13:00-15:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：14名

入場料等：無料



資源でつくるコミュニティ

「ワケあり雑がみ部」のひみつ展

参加者の作品や映像記録などを通して、「ワケあり雑がみ部」がどのような活動なのか、そのしぐみを改めて紹介しました。

会期：2026年1月17日(土)

-2月25日(水)

各日9:00-22:00

会場：7fラウンジ

入場・参加者数：2,809名

入場料等：無料



[関連企画]

ワケあり雑がみ部ミニ

雑がみを整理している空間(部室)を、作品や雑がみを手にとって自由に遊べる未就学児向けのコーナーとして開放しました。

会期：通年

会場：7fスタジオc 近く



[主な協力等]

キンコース青葉通一番町店
「ワケあり雑がみ部inキンコース
青葉通一番町店」
(企画協力)
会期：通年
会場：キンコース青葉通一番町店

一般社団法人アート・インクルー
ジョン「Aiどんどこ市」
(企画協力)
会期：2025年6月7日(土)
11:00-17:00
会場：ぶらんど〜む一番町

東北福祉大学安藤直子ゼミ
「七夕かざり制作」
(材料提供)
会期：2025年6月13日(金)
会場：東北福祉大学

八幡町商店会
「雑がみ七夕作りワークショップ」
(材料提供)
会期：2025年7月8日(火)、
7月21日(月・祝)
会場：国見児童館(8日)、
八幡杜の館(21日)

八幡町商店会
「雑がみ七夕飾り展示」
(展示協力)
会期：2025年8月4日(月)-
8日(金)
会場：nicomo

春日町町内会
「雑がみ七夕飾り展示」
(展示協力)
会期：2025年8月6日(水)-
8日(金)
会場：春日稻荷神社

一般社団法人アート・インクルー
ジョン「Ai本祭」
(企画協力)
会期：2025年9月20日(土)
11:00-20:00
会場：長町駅西口広場公園

CARV@N
「colorin ADVENTURE PARK
IN STUDIO080」
(材料提供)
会期：2026年2月16日(月)
10:00-11:30
会場：STUDIO080

アーティスト笹原晃平が「交換」「経済」「こども」「地域活性化」をテーマに発案したアートプロジェクト。笹原氏が考える「貨幣を介さない交換経済」を、展覧会「もうひとつの森」内で展示し紹介するとともに、メディアテーク周辺の地域で実験的におこない、「お金」や「交換すること」について考えました。

[イベント]

ご飯を食べるプロジェクト

展覧会「もうひとつの森」会期中の1週間、ギャラリー内に「ご飯を食べるプロジェクト」のチケットセンターが開設され、小中学生がプロジェクトに参加しました。チケットを手にまちを歩き、知らない店や大人と出会い、自分の住むまちやお金について想像する力を育む機械となりました。

会期：2025年11月1日(土)-11月7日(金)各日 14:00-17:00

会場：せんだいメディアテーク周辺地域、

6fギャラリー 4200(展覧会「もうひとつの森」会場内)

入場・参加者数：153名

入場料等：無料

協力：創作ダイニング As/アズ、ラグレス、Gallery TURNAROUND、amnt(あむんと)



[関連企画]

社会実践ポストポン

これまでの記録映像などとともに、貨幣以前に中世ヨーロッパで用いられた信用取引の方法などプロジェクトで参考にした事例やしくみを紹介するブースを設置しました。

入場料等：無料

協力：創作ダイニング As/アズ、ラグレス、Gallery TURNAROUND、amnt(あむんと)

会期：2025年11月1日(土)-11月30日(日)各日11:00-19:00

会場：6fギャラリー 4200(展覧会「もうひとつの森」会場内)、
せんだいメディアテーク周辺地域



+

+

1-2-4

大縁会

仙台のまちなかの駐車場を会場に、仙台や東北などで制作活動に取り組む若いアーティストがギャラリスト、キュレーター、批評家らと交流するお祭りのような1日。アーティストのポートフォリオを募集し、閲覧できるライブラリーを設けるとともに、ゲストと参加アーティストによるラジオブースでのトークを実施しました。会場では、多国籍料理やDJが交流を促しました。

会期：2025年9月28日(日)12:00-19:00

会場：三井のリパーク 仙台フォーラスお客様駐車場

入場・参加者数：300名

入場料等：無料

協力：せんだい 21 アンデパンダン展実行委員会、OF HOTEL

ゲスト：千葉真利氏(合同会社ホームシックデザイン、Cyg art galleryキュレーター)、山本浩貴氏(文化研究者、実践女子大学准教授)、阿部沙斗加氏(塩竈市杉村惇美術館学芸員)、村上滋郎氏(美術家、アメフラシ主宰、東北芸術工科大学洋画コース准教授、長井ブルワリークラフトマン代表)



1-2-5

art node
MEETING
自由参加型公開会議

MEETING

せんだい・アート・ノード・プロジェクトに参加するアーティストの関心や取り組んでいる課題などを切り口としながら、活動の理解を深めていくとともに、来場者も交えてアートノードのプログラムを検証する自由参加型公開会議です。

アートノード・ミーティング 13

アートプロジェクトは、ポリティカルコネクテネスか？

アートプロジェクトにおけるポリティカルコネクテネスについて、川俣正氏の「仙台インプログレス」を例に、ゲストを交えたトークをおこないました。

会期：2025年8月3日(日)14:30-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：55名

入場料等：無料

出演：桂英史氏(東京藝術大学大学院映像研究科教授〈当時〉)、川俣正氏、小田原のどか氏(彫刻家、評論家、横浜国立大学教員)

司会：甲斐賢治(せんだいメディアテーク)



アートノード・ミーティング 14

東北・北海道の「アートプロジェクト」の現場から考える

東北・北海道の文化施設からゲストを招き、「アートプロジェクト」にはどのような人員、育成が求められるのか、そしてそれが可能かについて、現場の実情も踏まえながら意見を交わしました。

会期：2025年9月29日(月)10:00-12:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：19名

入場料等：無料

協力：持続的なアートプロジェクトのための人材育成研究会、OF HOTEL

出演：芦立さやか氏(秋田市文化創造館ディレクター)、

大澤苑美氏(八戸市美術館 学芸員)、

佐藤康平氏(札幌文化芸術交流センター SCARTS 事業担当係長)、

服部浩之氏(国際芸術センター青森館長)、

司会：甲斐賢治、田中千秋(せんだいメディアテーク)





[イベント]

TALK

現代アートやその周辺領域で活動されている方を招き、自身の制作での経験に基づいた考えを話していただくトークイベントです。仙台で活動するギャラリーや書店などのパートナーとともに開催します。

仙台で考える 水俣のこと、能登のこと

写真家・森田具海氏の写真集「ここで眺める、水俣 そして能登」で紹介されている風景とそこに生きる人々の話から、ゲストとともに、森田氏の表現とそれぞれの地域について考えました。

会期：2025年5月4日(日・祝)

18:00-19:30

会場：book cafe 火星の庭

入場・参加者数：42名

入場料等：1,500円

出演：森田具海氏(写真家)、山内明美氏(宮城教育大学教育学部准教授)

司会：小田原のどか氏



難民・移民と協働するアートセンター イギリス、カウンターポイント・アーツ

難民・移民と共にアートプロジェクトを実施しているロンドンのカウンターポイント・アーツからゲストを招き、活動について話を伺いました。アーティスト支援や難民、移民と協働するアートプロジェクトについてイギリス国内の事例を知ることができました。

会期：2025年7月14日(月)

18:30-20:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：38名

入場料等：無料

ゲスト：アルミア・コルジッチ氏(カウンターポイント・アーツ代表)、ラ・ディフェンス氏(カウンターポイント・アーツ・プロデューサー)

モデレーター：甲斐賢治、池上朋(せんだいメディアテーク)



**アートは見るもの？アートと言葉を
めぐる旅**

話し手にノンフィクション作家で映画
「目の見えない白鳥さん、アートを見
にいく」共同監督の川内有緒氏、
聞き手に、宮城・仙台を中心に障害
のある人の芸術文化活動の支援を
している高橋梨佳氏をゲストに、映
画のことや、障害のある人のアート
鑑賞の環境について対話をしまし
た。

会期：2025年7月26日(土)

16:30-18:00

会場：SARP 仙台アーティストラン
プレイス スペースA

入場・参加者数：32名

入場料等：1,000円

企画運営：喫茶 frame

聞き手：川内有緒氏(ノンフィクショ
ン作家)

話し手：高橋梨佳氏(NPO法人エイ
ブル・アート・ジャパン)

協力：映画「目の見えない白鳥さ
ん、アートを見に行く」自主上映実
行委員会

バリアフリー対応：手話通訳



1-3

資源循環の杜へ せんだいリポート

[イベント]

資源循環に関わる人づくりを目指し、ユニークな視点で環境問題に取り組む市民・アーティストと協働しながら、仙台の新しい資源循環のあり方を考えていくプロジェクトです。

リペアの権利、バラシの倫理

それぞれ修復と解体を指す言葉である「リペア」と「バラシ」をテーマに、欧米で広がる「修理の権利」の動向や創意工夫ある実践に取り組む方々の知恵や配慮を広く共有するトークをおこないました。

会期：2026年1月9日(金)19:00-20:30

会場：even supported by チョウエイハンズ

入場・参加者数：28名

入場料等：無料

企画運営：TURNAROUND

協力：株式会社青土社、裂け目

ゲスト：関本欣哉氏(TURNAROUND)、吉田健彦氏(研究者・プログラマー、東京農工大学非常勤講師)

聞き手：阿部結悟氏(仙台市環境局)

司会：丹治圭蔵(せんだいメディアテーク)



【発行物】

『蚯蚓(みみず)新聞』

アーティストの佐々瞬氏による参加型のアートプロジェクト「土の買取屋」の一環として制作しました。

制作：佐々瞬氏(美術家)

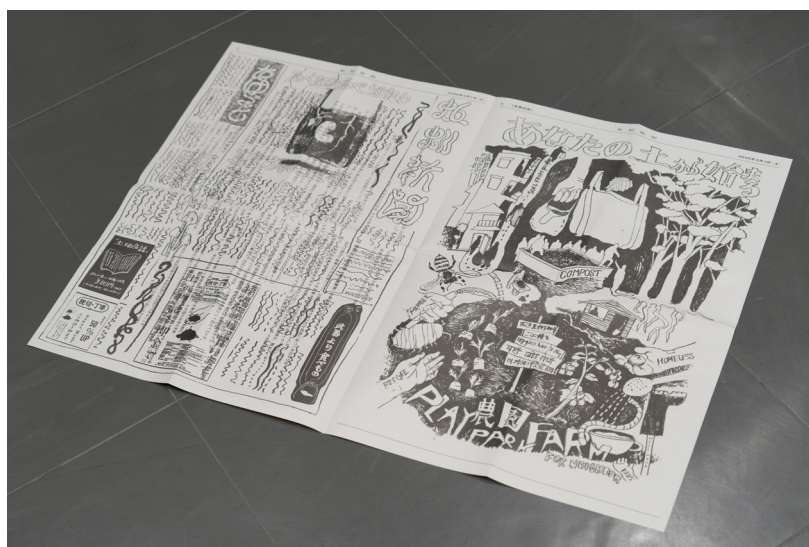
編集：関本欣哉氏、阿部結悟氏、甲斐賢治、丹治圭蔵

デザイン：尾中俊介氏(Caramari Inc.)

発行：せんだいリポート(仙台市環境局、せんだいメディアテーク)

発行日：2026年3月28日

価格：無料



『リブーとしげじゅんのとっちらかるた』

分別、リサイクル、エコな暮らし「まじめにやってるのに、なぜかとっちらかる」—
ごみや環境をめぐる暮らしの”正解のなさ”。そんな、まだ名前のない感覚を
か
るたとして制作しました。

作画：伊達伸明氏(美術家)

企画：せんだいリポート

制作日：2026年1月31日(土)

価格：1,800円+税(2026年4月より一般発売)



1-4

ロバート キャンベル 館長 トークセッション

1-4-1

館長のロバート キャンベルが、ゲストの活動やストーリーを通して仙台の地から世界を多面的に知り、考えていくシリーズです。

「ずんだと牛タン」 ―ぼくに仙台のことを教えてください―

第1部はキャンベル館長によるトーク「長い時間を過ごした場所ともの話」をおこないました。第2部では仙台で活躍する様々な分野のゲストを招き、各々が持参した「もの」を通して、館長に「仙台」のリアルな姿を紹介しました。

会期：2025年6月7日(土)14:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場者・参加者数：266名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

出演者：建築ダウナーズ(菊池総太郎氏、千葉大氏、吉川尚哉氏)、大隅典子氏(東北大学大学院医学系研究科教授)、赤羽優子氏(株式会社ティ・ディ・シー 代表取締役社長)、王友安氏(株式会社コミュニナ、翻訳者、編集者、国際プロジェクトコーディネーター)、ロバート キャンベル



1-4-2

Unbroken 傷ついても壊れてはいない

第1部は館長のロバート キャンベル、小説家の柳美里氏、建築家の坂茂氏が、災害や戦争を巡る近年の自身の取り組みについてプレゼンテーションしました。第2部では「Unbroken 傷ついても壊れてはいない」のテーマを鼎談でさらに深めました。会場内には坂茂氏によるプロジェクト「ペーパー・サンクチュアリ」の一部を展示。また、ウクライナ人写真家ヴェラ ブランシュの作品展「Hope And Paim 痛みの底に灯るもの」を開催しました。

会期：2026年3月28日(土)14:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場者・参加者数：283名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

協力：ヴェラ ブランシュ（写真家）

出演：柳美里氏（劇作家、小説家）、坂茂氏（建築家）、ロバート キャンベル



1-5

smtシネマ

7fスタジオシアターを拠点として、さまざまな映画・映像作品を上映するプロジェクトです。シネマテーク(映像博物館)、映像アーカイブ、そして映像表現の現在地を探る取り組みをおこないました。

1-5-1

映像の仙台史5

フィルムやビデオに残された映像から仙台の現代史を探るシリーズ。今回は、仙台市の指定・登録文化財でありユネスコ無形文化遺産にも登録されている秋保の田植踊を映した『秋保湯元の田植踊』を上映しました。あわせて仙台市地下鉄に関する映画や「市民の足」をテーマとしたホームムービーを紹介しました。

会期：2025年6月21日(土)、10:30-12:00/13:30-15:00/18:30-22:00、
6月22日(日) 10:30-12:00/13:30-15:00

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：213名

入場料等：無料

バリアフリー対応：託児、リラックス上映

協力：仙台市教育委員会文化財課、NPO法人20世紀アーカイブ仙台

出演：沼田愛氏(仙台市教育委員会文化財課)



1-5-2

リシャール・コパンス『せんだいメディアテーク』ふたたび

フランスのTVドキュメンタリー・シリーズ「Landscape of Architectures」の一作として2004年にせんだいメディアテークを撮影に訪れたリシャール コパンス氏を招き、撮影当時に現場を手伝った当館元副館長の佐藤泰美氏が聞き手となり、20年ぶりの来館となったコパンス氏の目に映った当時から現在までの変化、そして、変わらない建築の魅力を伺いました。

会期：2025年10月8日(水)19:30-21:00

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：51名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

協力：認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭、アリアンス・フランセーズ仙台

話し手：リシャール コパンス氏(撮影監督、プロデューサー)

聞き手：佐藤泰美氏(せんだいメディアテーク元副館長)



1-5-3

100年／Imagination

昭和100年の年に、まさしく『100年』と題されたドキュメンタリータッチの作品と、極めて抽象的な映像と音楽のライブ上映の組み合わせの、異なる作風を体験する機会となりました。また、非常に実験的な表現ながら、高校生・大学生の来場が多く、作家に質問する姿が見られました。

会期：2025年11月21日(金)18:30-20:00

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：73名

入場料等：前売2,000円、当日2,500円、障害のある方(介助者1名まで)・学生は無料

バリアフリー対応：手話通訳(上映後トーク時)

出演：牧野貴氏(映像作家)、渡邊琢磨氏(音楽家)



ゆるゆるシネマ(後述)

『マイスマールランド』

(監督：川和田恵真／2022年)

会期：2025年10月15日(水)

14:00-/18:30-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：37名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕

『さよならくちびる』

(監督：塩田明彦／2019年)

会期：2026年2月19日(木)

10:30-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：106名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕

『PLAN 75』

(監督：早川千絵／2022年)

会期：2025年12月18日(木)

10:30-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：184名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕

1-6

せんだいデザインリーグ 2026 卒業設計日本一決定戦

建築を学ぶ学生の卒業設計を全国から公募し、建築家などによる公開審査のもと卒業設計日本一を決める大会です。2003年の第1回開催から今期で24回目を迎え、建築を志す学生、その集大成である卒業設計作品が大学の垣根を越えて会する熱気に満ちた舞台となりました。

会期：2026年3月8日(日)-3月15日(日)

会場：1f オープンスクエア、5f ギャラリー 3300、6f ギャラリー 4200、
オンライン

主催：仙台建築都市学生会議、せんだいメディアテーク

[審査員]

内藤廣氏(審査員長)、伊藤博之氏、保坂健二郎氏、森田祥子氏、市川紘司氏

[入賞作]

日本一：鈴木達也氏(千葉大学)『重なりの輪郭』

日本二：松平友希奈氏(実践女子大学)『用途非特定型高層連続建築』 —
Line animation/Surface animation—

日本三：伊丹智妃氏・姚志怡氏・柳成生氏(早稲田大学)『Bear Dear
Institute』 —療養フィールドを中心に、獣から野生動物と社会をつなぐ利用拠点—

特別賞：藤生光樹氏(近畿大学)『手の試行』 —合理的な「通過」に対する、身体的な「抵抗」 —、前島由依氏(日本女子大学)『迷うことについて』 —揺らぎの秩序を享受し、意識遷移が旋回する劇場設計—

[イベント]

公開審査

会期：2026年3月8日(日)14:00-19:00

会場：1fオープンスクエア、オンライン

入場・参加者数：220名

入場料等：無料



作品展示

会期：2026年3月8日(日)-3月15日(日)各日10:00-18:00

会場：5fギャラリー 3300、6fギャラリー 4200

入場・参加者数：2,212名

入場料等：無料



1-7

ショートピース! 仙台短篇映画祭 2025

2001年より続く市民有志による実行委員会が企画する映画祭。25回目となった今年度は、毎年恒例となった市内の高校生による作品の上映にはじまり、個性的なアニメーションや100年以上も前のコメディ、東北初上映や蔵出しの作品など、多彩な映画が紹介されました。

会期：2025年9月20日(土)-9月23日(火・祝)

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：847名

入場料等：1プログラム 1,500円、65歳以上・高校生以下・障害者手帳をお持ちの方等 800円

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕、手話通訳、要約筆記

主催：仙台短篇映画祭実行委員会

共催：せんだいメディアテーク

助成：独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人カメイ社会教育振興財団

[上映プログラム]

無料上映 高校生プログラム

アニメから未来をみつめて

映画の話をしよう

失われた風景を探して—パンドラの匣

『雨降って、ジ・エンド』

アジア初のドキュメンタリー映画から「愛と葛藤を考える」

アリス・ギイとゴーモン社 20世紀初頭のフランス短編映画集

ユニバーサル上映『タリナイ』

新しい才能 「阪元裕吾短編作品集」

[ゲスト]

ひらのりょう氏、渡辺佐吉氏、五十嵐耕平氏、井之脇海氏、富永昌敬氏、佐藤そのみ氏、高橋泉氏、廣末哲万氏、澁谷浩次氏、大川史織氏、北野陽太氏、片峯綾乃氏、亀平菜緒氏、内海元伸氏、阪元裕吾氏



1-8

こどもわかものプロジェクト

[イベント]

学校では経験することのない体験や学びから、こどもや若者の想像力をひろげるプロジェクト。2年目となる今年度は、18歳までのこどもや若者が自由に過ごせる「マンガテーク」を実施しました。また、昨年制作したこども向け館内案内リーフレット『smtデザインのひみつ』を用いた見学を実施しました。

マンガテーク

市内の小中学校が秋休みとなる5日間、18歳以下のみが入場でき、一日中リラックスして読書に没頭できる環境を整えました。約8,000冊のマンガと紙片を詰めたクッションなどで構成された空間で、こどもたちは思い思いの時間を過ごしていました。

会期：2025年10月11日(土)-10月15日(水)

各日10:00-17:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：734名

入場料等：無料、18歳まで入場可

会場設計・制作：建築ダウンーズ

グラフィックデザイン：伊藤裕氏(デザイナー)

協力：株式会社ソノベ、株式会社ユニグラフィック、共同紙工株式会社、新日本紙工株式会社、常盤洋紙株式会社



1-9

オン・ディスプレイ

コンテンポラリー・アートによる定禅寺界隈の新たな魅力の創出を目指して、仙台・宮城にゆかりの作家や、同時代に活躍している作家の作品を、せんだいメディアテーク館内に長期間展示するプロジェクト。メディアテークでしか見ることができない作品の展示を通して、国内外からの来訪者との新たなコミュニケーションを誘発します。

会期：2025年8月5日(火)-2026年3月31日(火)各日9:00-22:00

会場：1・2fエスカレーター踊り場付近、7fホワイエ

入場料等：無料

[展示作品]

《Tree hut in the sendai mediatheque》、《Nest on the sendai mediatheque》

作者：川俣正

制作年：2025年

素材：木材、樹木、鉄

設計・施工：株式会社鈴木事務所

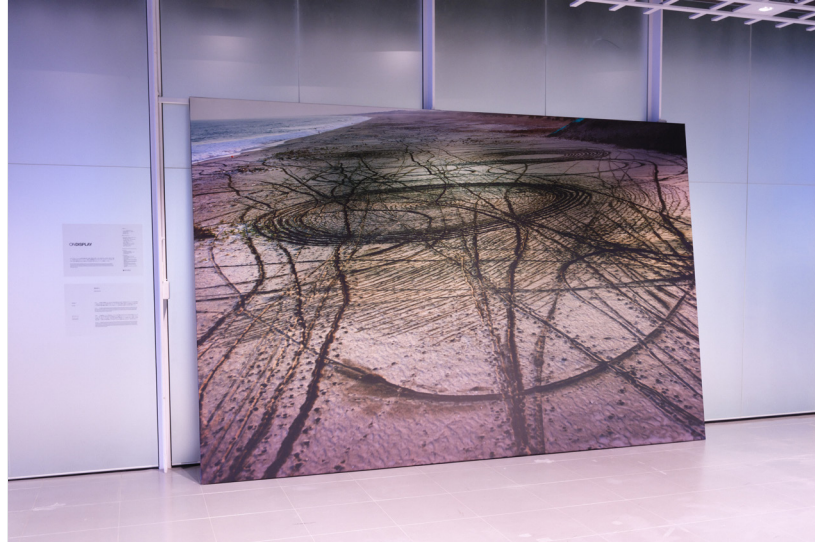


《螺旋海岸 31》

作者：志賀理江子

制作年：2010年／2025年

素材：ターポリン、アルミニウム



《海に雪がふる日、波打ち際には蛇の道があらわれる

その先を歩いてゆくと、もうここにはいない、近しいあの人たちに会える》

作者：志賀理江子

制作年：2010年／2025年

素材：ターポリン、アルミニウム



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

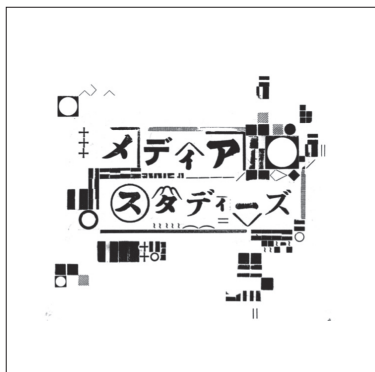
+

+

2

2-1

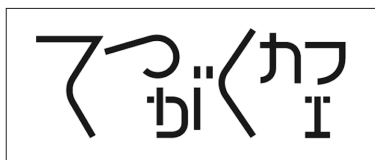
メディア・スタディーズ



メディアを活用して地域の文化をつくる、個人・グループによるさまざまなプロジェクトです。

+

2-1-1



てつがくカフェ

活動主体：てつがくカフェ@せんだい

通常当たり前だと思っている事柄について「そもそもそれって何なのか」と問い直し、参加者同士で「対話」を重ねることで、考えることの難しさや楽しさを体験する企画「てつがくカフェ」をおこなっています。

※以下のイベントは、てつがくカフェ@せんだいとの共催で実施しました。

+

[イベント]

第95回てつがくカフェ

「評価と共感のあいだにあるもの

—ほめること、認めること—」

「ほめること」をテーマに参加者同士対話を重ねて考えを深めました。

会期：2025年5月6日(火・休)

14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：33名

入場料等：無料



てつがくカフェ読書会

『『爆弾と紙のランドセルと白いごはん』から、「戦禍の日常」について考える』

井上きみどり氏の漫画『爆弾と紙のランドセルと白いごはん』を参加者と読み解き、「戦禍の日常」について考えました。

会期：2025年7月5日(土)

15:00-17:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：11名

入場料等：無料

協力：井上きみどり氏



第97回てつがくカフェ

「いま、あらためて結婚の定義について考える」

「いま、あらためて結婚の定義について考える」をテーマに参加者同士対話を重ねて考えを深めました。

会期：2026年2月14日(土)

14:00-16:30

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：47名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声字幕書き起こし

共催：♀×♀ お茶っこ飲み会・仙台



第96回てつがくカフェ

「わたしのなかにある戦争」(再掲)

会期：11月9日(日)14:00-16:30

会場：6fギャラリー 4200

(展覧会「もうひとつの森」会場内)

入場・参加者数：18名

入場料等：無料

協力：井上きみどり氏



第98回てつがくカフェ

「経験を〈記録〉するということ」

「経験を〈記録〉するということ」をテーマに、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

会期：2026年3月15日(日)

14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

(展覧会「星空と路」会場内)

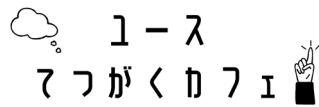
入場・参加者数：39名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記



2-1-2



ユースてつがくカフェ

活動主体：ユースてつがくカフェ

ユースてつがくカフェは、学校や教室といった枠にとらわれず、人間同士が語り合い、物事を深くから考えてみる場です。

※以下のイベントは、てつがくカフェ@せんだいとの共催で実施しました。

[イベント]

ユースてつがくカフェ

第36回公開ミーティング

「分断」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年4月27日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：5名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第38回公開ミーティング

「ゆるキャラ」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年6月28日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第37回公開ミーティング

日常で感じる小さな疑問をきっかけとした対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年5月31日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象

ユースてつがくカフェ

第39回公開ミーティング

「推し」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年7月27日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：5名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第40回公開ミーティング

「Chat GPT」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

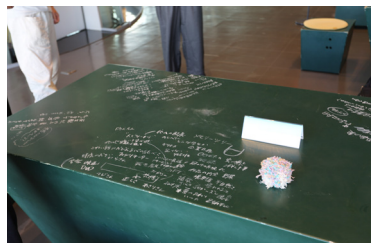
会期：2025年8月30日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：5名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第41回公開ミーティング

「こわかった話」などをきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年9月21日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第42回公開ミーティング

「いいウソ」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年10月18日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：7名

入場料等：無料、中学生・高校生・10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第43回公開ミーティング

この回では、ギャラリーで開催中の「もうひとつの森」展に場を移し、「(数字の)ゼロ」「髪の毛」などの言葉をきっかけに対話をおこないました。

会期：2025年11月24日(月・休)

14:00-16:00

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：5名

入場料等：無料、中学生・高校生・

10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第44回公開ミーティング

「地球最後の日に何をしたいか」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2025年12月27日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：7名

入場料等：無料、中学生・高校生・

10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第45回公開ミーティング

「応援」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話を通してお互いの考えを深めました。

会期：2026年1月10日(土)

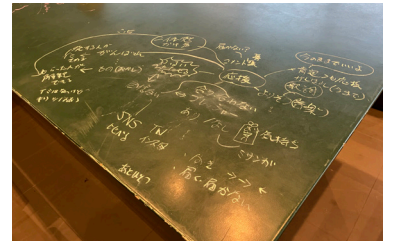
14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：4名

入場料等：無料、中学生・高校生・

10代の方が対象



ユースてつがくカフェ

第46回公開ミーティング

身近で起きた出来事などをきっかけに参加者と対話をおこないました。

会期：2026年2月22日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：3名

入場料等：無料、中学生・高校生・

10代の方が対象

ユースてつがくカフェ

第47回公開ミーティング

「友達の多い人と少ない人の違い」
などの話題をきっかけに参加者と
対話をおこないました。

会期：2026年3月7日(土)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：9名

入場料等：無料、中学生、高校生、
10代の方



2-1-3



[イベント]

民話 声の図書室

活動主体：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた宮城県内を中心とする民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として後の世代に手渡していくため、民話語りのCD作成、語りの映像撮影とDVD作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などをおこなっています。

小さなゆうわ座

くらしの中で聞く 語る—丸森の語り

手 佐藤秀夫さんのこと

丸森の語り手・佐藤秀夫さんの語りを通して、暮らしの中にある民話について参加者とともに対話しました。

会期：2026年2月15日(日)

13:30-15:30

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：106名

入場料等：無料

共催：「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

バリアフリー対応：音声字幕書き起こし



2-1-4



みやぎシネマクラドル

活動主体：みやぎシネマクラドル

宮城県を主な拠点に、映像を通して作り手と市民が繋がり支え合うためのコミュニティです。作品を鑑賞しながら語り合う「映像サロン」等を開催しています。

※以下のイベントは、みやぎシネマクラドルとの共催、i-くさのねプロジェクトの協力で実施しました。

[イベント]

第21回映像サロン

「そして生きていく―難病ALS当事者 さまざまな暮らしの工夫―」

穴戸大裕氏(映像作家)によるALS当事者の日常を紹介する4つの短編映像を鑑賞後、参加者同士で意見交換をおこないました。

会期：2025年7月6日(日)

13:30-16:15

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：22名

入場料等：無料

進行：みやぎシネマクラドル

ドキュメンタリーが開く世界

―みやぎシネマクラドルの10年とこれから―

立ち上げから10周年となることに際し、作り手たちが一同に会し、作品を発表。上映後には各監督によるトークをおこない参加者同士で語り合いました。

会期：2025年8月9日(土)10:00-

20:00、8月10日(日)10:00-19:30

会場：7fスタジオシアター・スタジオb

入場・参加者数：330名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

出演：山内明美氏(10日シンポジウムのみ)



第22回映像サロン

「被災地の願いと揺らぎを考える」

我妻和樹氏(ドキュメンタリー映画作家)制作の映画『願いと揺らぎ』を鑑賞後、参加者同士で意見交換をおこないました。

会期：2026年3月21日(土)

13:30-17:50

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：15名

入場料等：無料



結婚の定義

結婚の定義

活動主体：♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

「同性婚」「夫婦別姓」「婚活」「生涯未婚」…現代日本社会は「結婚」に関するキーワードであふれています。しかしその一方で「そもそも『結婚』って何?」という根本のところは置き去りにされがちです。法制度・文化・習俗など、さまざまな側面がある「結婚」。友人や恋人やきょうだいや、他のいろいろな関係と区別するズバリな「結婚の定義」はあるのか?それともそんなものはないのか?多面的な視点から考察していくプロジェクトです。

[イベント]

ミニ展示「結婚の定義」

メッセージ募集—「結婚式」に思うこと教えてください!

結婚式に関する考えや思いを問うアンケート展示を実施しました。

会期：2025年5月24日(土)-

6月22日(日)各日9:00-22:00

会場：1f南側エレベーター周辺

入場・参加者数：19,136名

入場料等：無料



トーク「キャラ婚した人と考える『結婚式とは?』」

2018年に二次元キャラクターの初音ミク氏と結婚式を挙げた近藤顕彦氏をお迎えし、二次元キャラクターを愛し挙式に至った経緯や思いなどを伺いながら、結婚式の持つ意味について考えました。

会期：2025年6月8日(日)

14:00-15:30

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：27名

入場料等：無料

ゲスト：近藤顕彦氏(学校事務職員、一般社団法人フィクトセクシュアル協会代表理事)

進行：MEME



[関連企画]

第97回てつがくカフェ「いま、あら
ためて結婚の定義について考える」
(再掲)

会期：2026年2月14日(土)

14:00-16:30

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：47名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声字幕書き起
こし

共催：♀×♀ お茶っこ飲み会・仙台

+

+

2-1-6



活版印刷工房

活動主体：活版印刷研究会

活版印刷の文化を保存し伝えるプロジェクトです。毎月1回、メディアテークの活版印刷機や活字を用いた制作・周辺設備の保守活動をしています。活字や道具のメンテナンスの技術を職人さんから学び、継承することで活版文化を後世に残すとともに、日々の活動や展示、一般の方向けのワークショップの開催などを通して、会の後継者の育成に取り組んでいます。

[イベント]

活版ワークショップ

「カードにひらがなを印刷してみよう」

(再掲)

会期：2025年11月15日(土)、

11月16日(日)各日13:00-15:00

会場：6f ギャラリー 4200(展覧会

「もうひとつの森」会場内)

入場・参加者数：100名

入場料等：無料

共催：活版印刷研究会

2-1-7



たてももの観察同好会

活動主体：SASSA (Sendai Architecture, Statue & Stone Association)

昭和時期を中心に建てられた、数多の建築。名建築家の建てた「名建築」以外のそれら「たてももの」を実際に訪れ、改めて観察することによって、その魅力を再発見していこうとするプロジェクトです。

※以下のイベントはSASSA (Sendai Architecture, Statue & Stone Association) との共催で実施しました。

[イベント]

仙台たてももの観察ウォーク—石・彫刻・建築— 定禅寺通り編

勾当台公園の翁観二作《谷風梶之助像》を出発地点に、彫刻や石、自然物をめぐりながら公園や定禅寺通りを参加者とともに探索しました。

会期：2025年4月13日(日)13:30-16:00

会場：定禅寺通、7fスタジオb

入場・参加者数：9名

入場料等：無料

案内人：SASSA (越後谷出氏、渡邊曜平氏)



たてもの観察帖—東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)・電力ビル・仙台市役所

仙台市内で長年親しまれてきた建造物、—東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)、電力ビル、3代目仙台市役所—を過去と現在の比較、特徴的な意匠、建材といったテーマを中心に観察してきた活動の成果を紹介しました。

会期：2025年10月1日(水)-2026年1月14日(水) 各日9:00-22:00

会場：7fラウンジ・スタジオa

入場・参加者数：17,163名

入場料等：無料

協力：公益財団法人宮城県文化振興財団、東日本興業株式会社、仙台市財政局本庁舎整備室、株式会社山下設計東北支社、塩竈市杉村惇美術館、宮城県美術館の百年存続を願う市民ネットワーク、宮城県建築士会仙台支部 まちづくり部会、ホテル定禅寺、展示にご協力いただいたみなさま



[関連企画]

仙台たてもの観察ウォーク

—石・彫刻・建築— 市街地編

電力ビルをスタート地点に、一番町や国分町のたてものを、使われている石材、意匠、彫刻など様々な角度から観察しながら参加者と歩きました。

会期：2025年11月8日(土)

13:30-16:00

会場：電力ビル、仙台第一生命タワービル、東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)ほか

入場・参加者数：12名

入場料等：無料

案内人：SASSA



トーク

「なぜたてものや街角にあるものを見ているのか」

「たてもの観察帖」展の開催にあわせ、活動者であるSASSAの2人から、これまでの経緯と見てきた建物や場所、そもそもなぜこのプロジェクトを始めたのかについて語られました。

会期：2025年12月21日(日)

14:00-15:30

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：21名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声字幕書き起こし

語り手：SASSA

進行：北友花(せんだいメディアテーク)



たてもの観察ツアー

東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)編

1964年に開館し、近年は別所に新施設建設が進められている東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)を訪れ、外壁にある故・杉村惇氏によるレリーフやホールの舞台裏を観察しました。

会期：2026年1月14日(水)

13:30-16:00

会場：東京エレクトロンホール(宮城県民会館)

入場・参加者数：25名

入場料等：無料

主催：SASSA、公益財団法人宮城県文化振興財団、せんだいメディアテーク

案内人：SASSA、菅原麻衣子氏(建築家)





せんだいシネバトル

活動主体：せんだいシネバトル

せんだいシネバトルは気軽なお喋りや3分間のプレゼン遊び「シネバトル」を通して、映画をより深くより豊かに楽しむための場所をつくるプロジェクトです。コロナ禍の活動休止後、再開した今年度は、もうひとつのシネバトル「トークサロン」を開催しました。

※以下のイベントはせんだいシネバトルとの共催で実施しました。

[イベント]

第1回トークサロン

映画「国宝」について、これほど多くの人の心を掴み大ヒットとなった理由を参加者と語りました。

会期：2025年12月6日(土)

14:00-15:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：12名

入場料等：無料



第2回トークサロン

山形国際ドキュメンタリー映画祭をテーマに、実際に見に行った人や行ったことのない人が一緒になり、過去の映画祭で見た作品や、映画祭そのものについて話しました。

会期：2026年2月7日(土)

14:00-15:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：9名

入場料等：無料



2-1-9

耳活朗読会

活動主体：耳活朗読会

ゆっくりと朗読を聴くことで、デジタルデトックスをしながら心身をリラックスしながら物語を楽しむプロジェクトです。

[イベント]

耳活朗読会『星の王子さま』

「耳活朗読会」のメンバーが、砂漠に不時着した飛行士と、小さな星からやってきた王子さまの友情を描く『星の王子さま』を朗読しました。

会期：2026年1月5日(月)

16:00-17:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：9名

入場料等：無料

共催：耳活朗読会

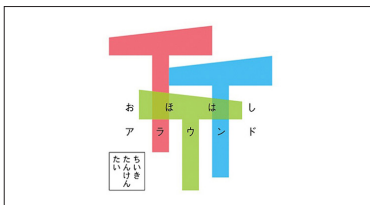


2-1-10

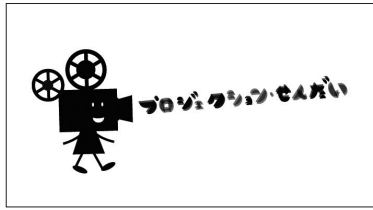
おほはしア라운드

活動主体：地域探検隊-TTT-

広瀬川大橋周辺をフィールドに、地域のエリアを広げる探検から、心の中にある地域を浮かび上がらせる探検、そして文化の壁・地域の内と外を乗り越える探検を行い、ガイドツアーやアートなどに活用するためのアーカイブ活動です。多層に積み重ねられた歴史と地域の生活文化を尊重するまちづくりとして取り組んでいます。



2-1-11

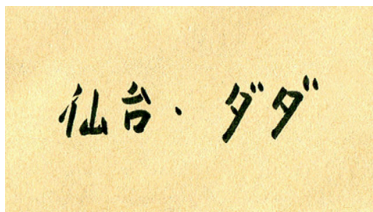


プロジェクト・せんだい

活動主体：プロジェクト・せんだい

仙台で70年にもわたり、映写技師として活躍している浅井浩雄氏のドキュメンタリーを制作するプロジェクト。今ではなかなか見ることができない映写や、浅井氏から語られる仙台や映画文化の記録をおこないます。

2-1-12

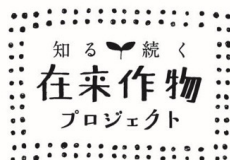


仙台前衛藝術の足跡を辿る

活動主体：ダダカン連

戦後まもなく、行為による表現活動を始めた糸井貫二氏を中心に、1960年代・70年代から活動する仙台の美術家や関係者への聞き取りおよび映像メディアによる記録、資料調査をおこなうプロジェクトです。いまだ知られざる仙台前衛藝術の動向と同時代の状況を考察するとともに、後世に残すためのドキュメントを作成しています。今年度は展示と関連企画をおこないました。

2-1-13

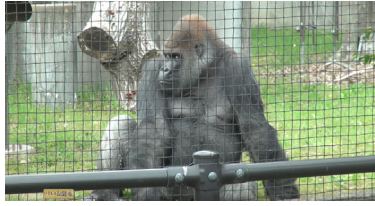


知る 続く 在来作物プロジェクト

活動主体：みやぎ在来作物研究会

在来作物とは、その土地で世代を超えて長年栽培され、人々に親しまれてきた野菜、果樹、穀類などの作物です。種を取る方法は、昔ながらの農法とともに代々受け継がれ「生きた文化財」とも言われます。地元にある在来作物を知り、守ってきた人たちを知り、これからも大切に残していきたいという活動です。

2-1-14

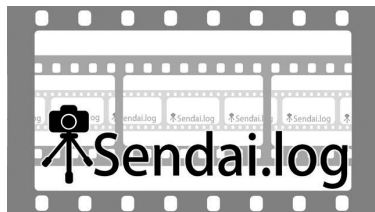


いきもの記録係

活動主体：いきもの記録係

いまを生きる命を、大切に記録する係／活動です。現在は貴重になっている日本の蚕と飼育している養蚕農家や、八木山動物公園に暮らすゴリラをはじめ、多種多様な生きる命を記録します。

2-1-15



Sendai.log

活動主体：Sendai.log

仙台の町の変化を捉え、記録していくプロジェクトです。振り返るといつのまにか変わっている「今の町の姿」を記録し、アーカイブログを作成しています。

2-1-16



失われた村の風景を記憶しなおす

活動主体：「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト

2000年、日米軍事演習を契機に集団移転がなされた黒川郡大和町升沢地区。升沢の記録保存調査に参加していた手代木信成氏が撮影していた移転前後の村の人々や自然の風景の写真約3000枚をデジタル化し、各写真を軸に、撮影内容・背景・周辺エピソードなど、撮影者や関係者からの情報を立体的にまとめるプロジェクトです。

2-1-17

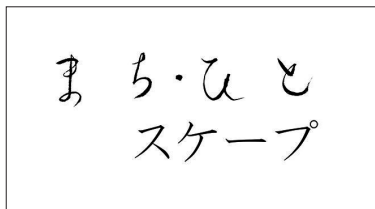


細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ

活動主体：寺崎英子写真集刊行委員会

1941年、旧満州に生まれた寺崎英子氏は、家族とともに宮城県鶯沢町細倉という鉱山町に移り住み、家業の売店を生業にしてきました。鉱山の閉山が発表されると寺崎氏はカメラを手にし、その後の細倉の行方を撮影しました。このプロジェクトでは、撮影された約1万1千カットのネガをアーカイブし、写真集刊行を目指して活動してきました。2023年に写真集を刊行し、その後は展覧会等を実施しています。

2-1-18



まち・ひとスケープ

活動主体：まち・ひとスケープ

残したい・伝えたいさまざまな事柄を、動画やブログなどのメディアを通して発信。楽しみながら、学びあい・スキルを高めあう活動です。

2-1-19

仙台写真月間アーカイブプロジェクト

活動主体：仙台写真月間アーカイブプロジェクト

仙台写真月間は2001年から現在にかけて毎年開催している、写真個展の同時多発イベントです。その仙台写真月間の過去20年、現在までに19回・144個展の記録をアーカイブし、その一部を公開するプロジェクトです。また、関係者に取材し、仙台写真月間のこれまでのあゆみや仙台の写真家たちの現在の動向などを記事化し、サイトにて公開したいと考えています。

2-1-20



仙台空襲―戦後80年の振り返り、そしてその先へ

活動主体：仙台・空襲研究会

私たちの日常では戦争の記憶は遠くなっていますが、今も世界中で目に見える戦争、目に見えない戦争が続いています。仙台・空襲研究会の活動は、戦争が遠い場所ではなく、日常すべての中心であった記憶と記録を手繰り寄せて、自分事として考えるためのきっかけになることを目指しています。2013年から続けてきた仙台・空襲研究会の仙台空襲を中心とした調査・研究・報告を戦後80年となる2025年に、さらに深く広がりを持たせる活動を行っていくことを目指しています。メディアスタディーズでは、空襲体験者の声や米軍・英軍資料の活用、戦争遺跡などについて、会が継続してきた多角的な調査・研究・報告などの内容を様々な年齢層に伝えていくことを目指しています。

2-2

目や耳の不自由な方々ほか、障害の有無にかかわらず主体的な情報アクセスや文化活動への参加機会の拡大に取り組みました。

バリアフリー・デザイン

2-2-1

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

せんだいメディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料を展示し、紙に印刷された文字を読むだけではない、さまざまな読書の楽しみ方を紹介しました。また、第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、しって、見本市。」(会期 2026年1月30日-2月4日)に資料の出展をおこないました。

会期：通年

会場：2fバリアフリーカウンター



2-2-2

手ではなすおはなしの会

聞こえない・聞こえにくいこどもたちに絵本の世界を楽しんでほしいという思いから始まった手話によるおはなし会です。ボランティアグループ「まほうの手」が、手話を使った絵本の読み聞かせや、本の世界を体験する遊びをおこなっていました。

※以下のイベントは仙台市民図書館との共催で実施しました。

[イベント]

2025 春

会期：2025年5月18日(日)10:00-10:30/11:00-11:30

会場：7fスタジオa・b

入場・参加者数：102名

入場料等：無料、幼児-小学校程度の方が対象

2025 秋

会期：2025年10月13日(月・祝)10:00-10:30/11:00-11:30

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：70名

入場料等：無料、幼児-小学生程度の方が対象



2026 冬

会期：2026年2月1日(日)10:30-11:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：82名

入場料等：無料、幼児-小学生程度の方が対象

ミニ

「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」(主催：仙台市民図書館)に参加しました。

会期：2025年7月6日(日)

10:10-10:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：20名

入場料等：入場無料、4ヶ月-2才児、妊娠中の方とその家族が対象



[関連企画]

手話読み聞かせ

ステップアップ講座

おはなし会のボランティアの技術向上のため、講師に池田亜希子氏(学校法人明晴学園)を招き、講座をおこないました。

会期：2025年8月30日(土)

13:00-17:00、8月31日(日)9:00-12:00/13:00-17:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：23名

ゆるゆるシネマ

(音声解説・日本語字幕つき)

小さな子ども連れのご家族も、障害のある方も楽しめる上映会を実施しました。午前中は上映中の声出しOK、音声解説を会場内スピーカーから流しました。会場内は完全に暗くせず、上映中の入退場自由としました。

[上映作品]

『マイスモールランド』

(監督：川和田恵真／2022年)

会期：2025年10月15日(水)

14:00-/18:30-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：37名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕

『さよならくちびる』

(監督：塩田明彦／2019年)

会期：2026年2月19日(木)

10:30-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：106名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕

『PLAN 75』

(監督：早川千絵／2022年)

会期：2025年12月18日(木)

10:30-/14:00-

会場：7fスタジオシアター

入場・参加者数：184名

入場料等：無料

バリアフリー対応：音声解説、日本語字幕



スウプノアカデミア 2025

障害のある人の「まなび」の場を考えるプロジェクト。学びたい本人が「好きなこと」「やってみたいこと」「学びたいこと」からテーマを決め、講座やワークショップなどのプログラムを企画しました。

※文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」(仙台市・生涯学習を通じた共生社会推進事業)の一環として実施しました。

会期：通年
入場料等：無料
主催：仙台市教育委員会
共催：せんだいメディアテーク
企画・運営：NPO 法人エイブル・アート・ジャパン

[イベント]

まなびを考える会 会期：2025 年 6 月 14 日(土)、 6 月 29 日(日)各日 14:00-16:00 会場：7f スタジオ a(14 日)、7f スタ ジオ b(29 日) 入場・参加者数：36 名 入場料等：無料、障害のある人で 18 歳以上の方が対象(障害の種 類、障害者手帳の有無は問わない)	しりたい・まなびたいにこたえる図 書館ツアー 会期：2025 年 8 月 31 日(日) 10:00-12:00 会場：仙台市民図書館 入場・参加者数：40 名 入場料等：無料、障害のある人で 18 歳以上の方が対象(障害の種 類、障害者手帳の有無は問わない) ※18 歳未満の方でも、学校卒業後 の校外の活動に興味のある方は参 加可能 バリアフリー対応：手話通訳
愛とか恋とか推してなんだ？ ゆるっとはなそう 会期：2025 年 7 月 26 日(土) 14:00-16:00 会場：7f スタジオ a 入場・参加者数：21 名 入場料等：無料、障害のある人で 18 歳以上の方が対象(障害の種 類、障害者手帳の有無は問わない)	

みんなでつくるミュージカル

会期：2025年9月20日(土)

14:00-16:00

会場：上杉コミュニティセンター

1f 大広間

入場・参加者数：21名

入場料等：無料、障害のある人で

18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無は問わない)

※18歳未満の方でも、学校卒業後の校外の活動に興味のある方は参加可能

ストレス・疲れを軽くしよう!

わたしたちのコーピング

会期：2025年10月19日(日)

14:00-16:00

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：18名

入場料等：無料、障害のある人で

18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無は問わない)

※18歳未満の方でも、学校卒業後の校外の活動に興味のある方は参加可能

ゲスト：認定NPO法人 Switch

あそびとまなびの森

スウプノアカデミア

ーみんなでつくるミュージカルー (再掲)

会期：2025年11月8日(土)

14:00-16:00

会場：6fギャラリー 4200

(展覧会「もうひとつの森」会場内)

入場・参加者数：35名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

NPO法人エイブル・アート・ジャパン

新発見・再発見!

北仙台を気ままに散歩

会期：2025年11月24日(月・休)

13:00-15:00

会場：仙台市内(北仙台エリア)

入場・参加者数：19名

入場料等：無料、障害のある人で

18歳以上の方が対象(障害の種類、障害者手帳の有無は問わない)

※18歳未満の方でも、学校卒業後の校外の活動に興味のある方、テーマに関心のある方は参加可能

案内人：佐藤正実氏(NPO法人20世紀アーカイブ仙台)

2-2-5

共に学び、生きる共生社会コンファ レンス in 仙台

障害のある人と芸術文化活動をおこなう団体や活動の紹介、展示等をおこなう「きいて、みて、して、見本市。」の中で、障害のある人と芸術文化活動をおこなう団体や活動の紹介展示や、舞台芸術体験ワークショップ、「共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック」などの対話を深める交流プログラムにより、多様な人々の出会いを創出しました。

※文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」(仙台市・生涯学習を通じた共生社会推進事業)の一環として実施しました。

会期：2025年1月31日(土)

10:30-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：138名

入場料等：無料

主催：仙台市教育委員会、文部科学省

共催：せんだいメディアテーク

企画・運営：NPO法人エイブル・

アート・ジャパン

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記



2-2-6

図書館はじめてツアー

第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、しって、見本市。」で、仙台市民図書館と協働し、図書館に来たことがない方向けの「はじめてツアー」を開催しました。特別支援学級に通う中学生から高齢の方まで幅広い年代の方が参加し、ツアーの最後には希望者が利用者カードを作成しました。

会期：2026年2月3日(火)、
2月4日(水)各日10:30-11:30/
14:00-15:00

会場：2・3・4f 仙台市民図書館、
2f 映像音響ライブラリー

入場・参加者数：43名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

主催：仙台市民図書館、せんだい
メディアテーク



情報保障・託児サービス等の取り組み

各事業において、あらゆる人が参加しやすい環境づくりとして、手話通訳、要約筆記、託児サービス等を実施しました。

[一覧]

手話通訳、要約筆記(音声字幕書き起こし)つき事業

- ・アートは見るもの?アートと言葉をめぐる旅 …参照:1-2-6
- ・「ずんだと牛タン」 ―ぼくに仙台のことを教えてください― …参照:1-4-1
- ・Unbroken 傷ついても壊れてはいない …参照:1-4-2
- ・リチャール・コパンス『せんだいメディアテーク』ふたたび …参照:1-5-2
- ・100年/Imagination …参照:1-5-3
- ・ショートピース! 仙台短篇映画祭 2025 …参照:1-7
- ・第97・98回てつがくカフェ …参照:2-1-1
- ・小さなゆうわ座 くらしの中で聞く 語る …参照:2-1-3
- ―丸森の語り手 佐藤秀夫さんのこと
- ・ドキュメンタリーが開く世界 …参照:2-1-4
- ―みやぎシネマクラドルの10年とこれから―
- ・たてもの観察帖 トーク …参照:2-1-7
- 「なぜたてものや街角にあるものを見ているのか」
- ・スウプノアカデミア 2025 …参照:2-2-4
- ・共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台 …参照:2-2-5
- ・図書館はじめてツアー …参照:2-2-6
- ・星空と路 トークプログラム「書きのこすこと、読み解くこと」 …参照:3-1-1

リラックス上映、日本語字幕上映、音声解説つき事業

- ・映像の仙台史 5 …参照:1-5-1
- ・ショートピース! 仙台短篇映画祭 2025 …参照:1-7
- ・ゆるゆるシネマ …参照:2-2-3

託児サービスつき事業

- ・映像の仙台史 5 …参照:1-5-1

障害のある人の芸術文化活動への参画と関連事業

- ・手ではなすおはなしの会 2025 …参照:2-2-2
- ・スウプノアカデミア 2025 …参照:2-2-4
- ・共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台 …参照:2-2-5
- ・図書館はじめてツアー …参照:2-2-6

乳幼児親子対象の催し

- ・メディアテーク de ちびぱーく …参照:4-2-5

視聴覚障害者ライブラリー

- ・としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示 …参照：2-2-1
- ・視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー） …参照：5-2

+

—

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

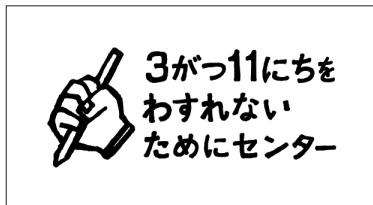
—

+

3

3-1

3がつ11にちをわすれないために センター



2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声・文章を、記録・発信し、利活用する事業。略称「わすれん!」。年間を通して、それぞれの参加者が記録活動等をおこないました。それらの記録をもとにDVD制作、ウェブサイトでの記録公開、「星空と路」や「わすれん! 資料室」での記録展示をおこないました。

星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者の活動を紹介する展示、イベントを実施。東日本大震災の記録のほか、県内外の個人・団体と協働その他の災害や災禍の記録を展示しました。

会期：2026年3月11日(水)-3月15日(日)各日10:00-18:00(前期)、
3月17日(火)-5月10日(日)各日9:00-22:00(後期)

会場：1f オープンスクエア、7f ラウンジ・スタジオ a

入場・参加者数：8,330名

入場料等：無料

[プロジェクト]

中野伝承プロジェクト(なかの伝承の丘保存会)

葛尾村と松本家と来訪者の年表(2016-2025)(松本家計画(余田大輝氏、筏千丸氏、石田きなり氏))

大川小学校とことば(佐藤敏郎氏)

3.11 あのと時のホント(橋本武美氏)

ならはアーカイブプロジェクト(一般社団法人ならはみらい)

広域避難のきろく(NPO法人北海道NPOサポートセンター)

9月6日ブラックアウトのなかでーなに、食べた?(NPO法人北海道NPOサポートセンター)

3月12日はじまりのごはん(二膳目)(3.11オモイデアーカイブ)

窓のうかがわ(3.11オモイデアーカイブ)

インタビューシート

道のりシート(宮本匠氏)

まちなかの距離感 —2011年と2020年の仙台— (3.11オモイデアーカイブ
／佐藤正実氏)



[関連企画]

トークプログラム

「書きのこすこと、読み解くこと」

今年度わすれン!と協働した2団体から3名をゲストに迎え、記録をのこすための取り組みやその向き合い方、これからの課題などを話し合いました。

会期：2026年3月14日(土)

14:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：42名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

話し手：金榮知子氏(NPO法人北海道NPOサポートセンター)、

木村英一氏・西崎芽衣氏(一般社団法人ならはみらい)、佐々木由紀(せんだいメディアテーク)

聞き手：佐藤李青氏(災間文化研究会、アーツカウンシル東京〈当時〉)、宮本匠氏(災間文化研究会、大阪大学)

司会：北野央(せんだいメディアテーク)



第98回てつがくカフェ

「経験を〈記録〉すること」ということ」

(再掲)

会期：2026年3月15日(日)

14:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：39名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、

要約筆記

3-1-2

常設展示「わすれん!資料室」

2fの映像音響ライブラリー内において、わすれん!に寄せられたさまざまな記録資料を手にとれる形で公開しました。本年度は、展示エリアの拡大や展示什器の更新をおこない展示環境を整備しました。また、「インタビューシート」は新たに多くの体験が追加されたほか、協働で制作した各種シートを公開しました。

会期：通年

会場：2f「わすれん!資料室」内



北海道NPOサポートセンター「9月6日ブラックアウトのなかで」**(展示協力)**

会期：2025年7月27日(日)、8月26日(火)-9月25日(木)、10月4日(土)、11月2日(日)

会場：函館市地域交流まちづくりセンター内 市民活動団体ブース(7月)、市民活動プラザ星園 1階カフェスペース(8月-9月、10月)、旭川「秋のCoCoDeまつり」会場(11月)

北海道NPOサポートセンターとの「インタビューシート 東日本大震災 避難のこと」**(企画・制作)**

会期：2025年9月15日(月)-11月17日(月)

パネル展示「わすれん!記録活動ミーティング2—能登から／能登へ—」**(展示協力)**

会期：2026年2月14日(土)-2月27日(金)

会場：石川県立図書館 屋内広場

和歌山市民図書館「3.11あの日を、私たちの明日として想像する。」**(展示協力)**

会期：2026年3月1日(日)-3月15日(日)

会場：和歌山市民図書館 2fイベントスペース

ならはみらい「3.11特別企画展 みちのうえ2026」**(展示協力・記録活動支援)**

会期：2026年3月6日(金)-3月23日(月)

会場：みんなの交流館 ならはCANvas

紫波町図書館特別展「あなたと語る3.11」**(展示協力)**

会期：2026年3月6日(金)-3月29日(日)

会場：紫波町図書館

東京工芸大学「語りにくさを語る—大川小を巡る15年の対話」**(展示協力)**

会期：2026年3月10日(火)-3月22日(日)

会場：東京工芸大学 中野キャンパス6号館1f、2f、B1f

北海道庁「東日本大震災復興ポスター展」

(展示協力)

会期：2026年3月10日(火)-3月11日(水)

会場：北海道庁本庁舎1f 特別展示場A

東日本大震災15年企画「知ること 語ること 活かすこと」

(展示協力)

会期：2026年3月11日(水)-3月22日(日)

会場：長崎シビックホール

熊本市現代美術館「熊本地震と文化的処方—私の心が動きはじめるとき—」

(企画協力)

会期：2026年3月20日(金・祝)-6月14日(日)

会場：熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ+井出宣道記念ギャラリー

+

+

3-2

コミュニティ・アーカイブ・ ラボラトリー



地域や関心・属性などさまざまなコミュニティについて、そこに関わる人々が中心となり記録・収集する取り組みを「コミュニティ・アーカイブ」と呼び、その意味や可能性について探る仮想の研究室です。

[イベント]

まちなかの距離感—2011年と2020年の仙台—

先の新型コロナウイルス禍のさなかに人々の手で撮影された仙台市内の街路や店々の写真を通じ、コロナ禍を2011年の東日本大震災に重ね合わせて振り返りながら、写真から思い出された来場者によるコメントとともに紹介しました。

会期：2025年4月21日(月)-5月25日(日)各日9:00-22:00

会場：7fラウンジ

入場・参加者数：2,650名

入場料等：無料

協働：3.11オモイデアーカイブ／佐藤正実氏



インタビューシート コロナ禍のこと

東京都の世田谷区文化生活情報センター 生活工房(公益財団せたがや文化財団)と一緒に、わすれん!で使ってきたインタビューシートの内容を新型コロナウイルス禍にあわせて改稿し、人々の言葉を集めました。

会期:2026年3月-(2027年度も継続)

会場:1fオープンスクエアおよび7fラウンジ(「星空と路」展内)、

2fわすれん!資料室、生活工房(東京都世田谷区)、オンライン

企画:せんだいメディアテーク、生活工房(公益財団法人せたがや文化財団)

協働:丹羽朋子氏(文化人類学研究者)



3-3

地域資料の収集

仙台にまつわる映像や写真などの収集・整理とデジタル化を進め、主催事業やサービスを通じて広く一般に公開しました。

3-3-1

資料の収集・整理

個人・団体からの提供、当館で調査した映画フィルムや写真のデジタル化を進めました。

（収集・整理した主な資料）

- ・映画「大崎八幡宮の祭事」「泉区が泉市・泉町だったころ」
- ・写真家佐々木徳朗氏撮影「昭和28年の仙台」
- ・市民から提供された8ミリフィルム等



資料の活用

特集上映『映像の仙台史 5』(前掲)の実施や、各種サービスを通じての資料提供、教育・報道利用等のためのレファレンスに対応し、デジタル化した資料の活用促進に努めました。また、生涯学習機関での事業や中学生の職場体験などに使われました。

[主な活用例]

「『映像の仙台史』資料の講座活用に関する研修」への協力

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団の市民センター担当職員を対象とした研修の一環として、当館所蔵の地域映像資料を活用した講座企画の立案について講義をおこないました。

会期：2025年7月29日(火)

会場：仙台市戦災復興記念館会議室

中学生がえらぶ、まちの記憶

上杉山中学校・郡山中学校・富沢中学校・五橋中学校、4校の生徒が、せんだいメディアテークでの職場体験の一環として学芸員の仕事に挑戦しました。メディアテーク収蔵の仙台市の写真をもとに、自分たちでテーマを考え、写真を選び、説明文を作成。展示作業もおこない、地域の記憶を中学生ならではの視点でたどりしました。

会期：2025年11月21日(金)-
12月14日(日)各日9:00-22:00

会場：1fエレベーター周辺

入場・参加者数：3,404名

入場料等：無料

協力：令和7年度職場体験4校(上杉山中学校、郡山中学校、富沢中学校、五橋中学校)



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

4

4-1

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域の多様なミュージアムが連携する組織「仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)」。

当館を会場にSMMA 参加館が集合し、各館の特色を生かした企画でミュージアムの楽しさを伝えるイベント「ミュージアムユニバース」を開催しました。展示やワークショップをおこないました。

令和7年度参加館数：21 館

[イベント]

ミュージアムユニバース

仙台市内のさまざまなミュージアムが集まって、所蔵資料や取り組みを紹介しました。各館の特色を生かした体験プログラムをおこなうほか、専門員によるトークイベントも実施しました。

会期：2025年12月20日(土)、12月21日(日)各日10:00-18:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：888名

入場料等：無料

主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス



[関連企画]

ミュージアムユニバースでおこなった各館プログラムの中から、当館参加企画を紹介します。

たてものかんたんガイド (ミュージアムユニバース)

各階を歩きながら、メディアテークの建築の特徴や普段は見ることのできないバックヤード等の館内ツアーをしました。

会期：2025年12月20日(土)、
12月21日(日)各日13:30-14:10

会場：1fオープンスクエアほか

入場・参加者数：32名

入場料等：無料



4-2

定禅寺通イベント共催事業等

定禅寺通に面した施設として、ストリートと一体化したスペースにもなる1fオープンスクエアを活用し、屋外でおこなわれるさまざまなイベントと連携する事業です。

4-2-1

仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)

仙台・青葉まつりの会場のひとつとして、仙台市と宇和島市の歴史姉妹都市50周年を記念した「まつりde学び座」が実施されたほか、外でのすずめ踊りの様子を映像で配信したり、街角演舞場として使われるなどしました。

会期：2025年5月17日(土)9:45-20:00、5月18日(日)11:00-16:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：1,391名

入場料等：無料

主催：仙台・青葉まつり協賛会

共催：せんだいメディアテーク



4-2-2

とっておきの音楽祭2025(せんだいメディアテーク会場)

6月に定禅寺通を中心に開催される、「とっておきの音楽祭」。合言葉は「みんなちがってみんないい」。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。

会期：2025年6月1日(日) 10:00-17:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：1,669名

入場料等：無料

主催：とっておきの音楽祭実行委員会

共催：せんだいメディアテーク



[関連企画]

25周年アニバーサリー・キックオフイベント

映画オハイエ!無料上映会

音楽祭25周年に関連したキックオフイベントとして映画オハイエ!無料上映会と関連トークショーを開催しました。

会期：2025年4月19日(土)

14:00-17:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：70名

入場料等：無料



25周年アニバーサリー・キックオフ イベント スペシャルライブ

音楽祭25周年を記念したスペシャルライブを開催しました。また、トークイベント「今だから話そう25年の心象スケッチ—映像を振り返りながら」と楽曲オハイエの演奏をしました。

会期：2025年4月20日(日)

13:00-14:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：412名

入場料等：無料



4-2-3

定禅寺ストリートジャズフェスティバル(せんだいメディアテーク会場)

仙台市中心部の各所にステージを設け2日間で70万人を超える観客動員を誇る「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の数少ない屋内会場として、のべ20以上のバンドが演奏を繰り広げました。

会期：2025年9月12日(金)-9月14日(日) 各日11:00-20:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：6,655名

入場料等：無料

主催：公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会

共催：宮城県、仙台市

会場協力：せんだいメディアテーク



〔関連企画〕

JOZENJI STREETJAZZ

CARAVAN —QUEST—

w/ バイヤー高橋

「第34回 定禅寺ジャズフェス」が10倍楽しくなる!クイズ付きspecialライブを、広報大使の人気在仙YouTuberバイヤー高橋氏のナビゲートでお送りしました。

会期：2025年7月19日(土)

13:00-16:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：250名

入場料等：無料

共催：公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会



4-2-4

smtオープンカフェ

定禅寺通りに面した大型開口部を開き、街路と一体化した開放的な空間としても使うことができる1fオープンスクエアを季節ごと広場のように開放しました。

[イベント]

春

会期：2025年4月29日(火・祝)-
5月6日(火・休)
各日9:00-22:00
会場：1fオープンスクエア
入場・参加者数：1,628名
入場料等：無料

冬

会期：2025年12月23日(火)-
12月26日(金)
各日9:00-22:00
会場：1fオープンスクエア
入場・参加者数：360名
入場料等：無料

七夕ひろば

会期：2025年8月5日(火)-
8月8日(金)
各日10:00-18:00
会場：1fオープンスクエア
入場・参加者数：1,370名
入場料等：無料



[関連企画]

たてものかんたんガイド

(七夕ひろば)

各階を歩きながら、メディアテークの建築の特徴や普段は見ることのできないバックヤード等の館内ツアーをしました。



会期：2025年8月6日(水)-
8月8日(金)各日13:30-14:10
会場：1fオープンスクエア
入場・参加者数：79名
入場料等：無料

メディアテークdeちびぱーく

乳幼児親子を対象とした自由に過ごすこどもの遊び場を作りました。マットスペースや企画ブースのほか、子育て情報ステーションなどを設けました。

会期：2025年7月2日(水)、7月3日(木)、2026年2月18日(水)、
2月19日(木)各日10:00-15:00

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：463名(7月)、577名(2月)

入場料等：無料

企画・運営：西公園プレパークの会、

仙台市子育てふれあいプラザ(のびすく仙台)

協力：青葉区中央市民センター、青葉区保健福祉センター家庭健康課、ウェルビー株式会社ハッピー仙台教室、公財財団法人仙台観光国際協会(SenTIA)、公益財団法人仙台こども財団、仙台市上杉児童館、仙台市社会福祉協議会青葉区事務所 青葉区ボランティアセンター、仙台市立町たんぽぽホーム、仙台市立町マイスクール児童館、仙台市通町児童館、仙台市民図書館、認定NPO法人フローレンスおうち保育園、認定こども園仙台YMCA幼稚園、支倉保育所 地域子育て支援センター



4-3

学校との取り組み

小中学校をはじめさまざまな学校による館内見学を案内したほか、職場体験活動の一環として仙台市内の中学生の受け入れました。また、学芸員課程で学ぶ大学生の博物館実習をおこないました。そのほか、県内の図工・美術科の学校教員を対象とした研修会に職員を派遣・発表しました。

学校見学：53校

博物館実習：5校

[イベント]

中学生がえらぶ、まちの記憶(再掲)

会期：2025年11月21日(金)-12月14日(日)各日9:00-22:00

会場：1fエレベーター周辺

入場・参加者数：3,404名

入場料等：無料

協力：令和7年度職場体験4校(上杉山中学校、郡山中学校、富沢中学校、五橋中学校)

4-4

仙台市民図書館との取り組み

複合施設であるメディアテークのなかでも中核的な機能である仙台市民図書館(仙台市教育委員会)と、「本というメディア」を鍵として連携し、さまざまなプログラムをおこないました。

[展示]

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示(再掲)

会期：通年

会場：2fバリアフリーカウンター

メディアテークの本棚

せんだいメディアテークの取り組む活動にあわせ、一年に数回テーマを変えて仙台市民図書館の所蔵資料を紹介しました。

会期：通年

会場：3f仙台市民図書館

[イベント]

図書館はじめてツアー（再掲）

会期：2026年2月3日（火）、2月4日（水）各日10:30-11:30/14:00-15:00

会場：2・3・4f 仙台市民図書館、
2f映像音響ライブラリー

入場・参加者数：43名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳

共催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク

スウプノアカデミア「しりたい・まなびたいにこたえる図書館ツアー」（再掲）

会期：2025年8月31日（日）

10:00-12:00

会場：仙台市民図書館

入場・参加者数：40名

入場料等：無料、障害のある人で18歳以上の方が対象（障害の種類、障害者手帳の有無は問わない）※18歳未満の方でも、学校卒業後の校外の活動に興味のある方は参加可能

手ではなすおはなしの会（再掲）

※以下のイベントは仙台市民図書館との共催で実施しました。

2025春

会期：2025年5月18日（日）

10:00-10:30/11:00-11:30

会場：7fスタジオa・b

入場・参加者数：102名

入場料等：無料、幼児・小学校程度の方が対象

2025秋

会期：2025年10月13日（月・祝）

10:00-10:30/11:00-11:30

会場：7fスタジオb

入場・参加者数：70名

入場料等：無料、幼児・小学生程度の方が対象

2026冬

会期：2026年2月1日（日）

10:30-11:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：82名

入場料等：無料、幼児・小学生程度の方が対象

ミニ

会期：2025年7月6日（日）

10:10-10:30

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：20名

入場料等：入場無料、4ヶ月-2才児、妊娠中の方とその家族が対象

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

5

5-1

映像音響ライブラリー

資料点数 16,515 点
貸出点数 47,588 点
新規登録者数 493 名

+

5-2

視聴覚障害者情報ライブラリー
(バリアフリー・ライブラリー)

資料点数 4,611 点
貸出点数 2,469 件
対面朗読件数 112 件
音訳・点訳件数 11 件
音声読み上げパソコン利用件数 0 件
音訳制作件数 17 タイトル
(DAISY 資料 11 タイトル、メディアテーク資料[情報誌等]6 タイトル)
点訳制作件数 22 タイトル
(視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録 16 タイトル、メディアテーク資料
[情報誌等]6 タイトル)

+

5-3

インターネットを通じた資料提供

2020年度から開設しているYouTubeチャンネル「せんだいメディアテーク・オンライン」にて事業の記録などを公開したほか、当館ウェブサイト上で画像資料を閲覧できるページを新たにし、収集した写真を公開しました。

YouTube「せんだいメディアテーク・オンライン」

せんだいメディアテーク公式ウェブサイト内「アーカイブ>>画像」



1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

6

6-1

書籍や報告書等の印刷物

『みやぎシネマクラドル10周年記念誌 ドキュメンタリー・ダイアローグス』
(冊子／無料)

『川俣 正 仙台インプログレス2016-2025』(冊子／無料)

『結婚の定義』(冊子／無料)

『蚯蚓新聞』(タブロイド紙／無料)

『リバーとしげじゅんの とっちらかるた』(かるた／価格1,800円+税)

+

6-2

DVDメディア等の映像音響資料

主催・共催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の活動を通じて制作された映像などをDVD・CDパッケージにし、「smtコレクション」として発行。映像音響ライブラリーで公開したほか、ライブラリー利用登録者にとどまらず、内外の報道、研究、上映会等のために貸し出しました。

+

主催・共催事業の記録

[DVD] ずんだと牛タン～ぼくに仙台のことを教えてください～

[DVD] もうひとつの森 「なにもしない」からはじめるメディアテーク

[DVD] Unbroken 傷ついても壊れてはいない

地域文化デジタイズ事業制作物

[DVD] 杜の都の地下鉄

[DVD] 秋保町湯元の田植踊

[DVD] 仙台—美術の場と記録— ガムファクトリー (1992-1995)

[DVD] 仙台—美術の場と記録— 仙台私立現代美術館 (1989-2005)

せんだい・アート・ノード・プロジェクトの記録

[DVD] TALK 想像力を通じて、風景を変容させる

[DVD] TALK 難民、移民と協働するアートセンター ～イギリス、カウンターポ
インツ・アーツ～

[DVD] MEETING アートノード・ミーティング13 「アートプロジェクトは、ポ
リティカルコレクトネスか？」

[DVD] TALK 仙台から考える水俣のこと、能登のこと

[DVD] TALK アートは見るもの？アートと言葉をめぐる旅

+

+

6-3

紙やインターネットを通じた
定期発行等

「催し案内」(印刷物／毎月／PDF版をウェブサイトで公開)
「けやき通り通信」(印刷物／隔月)
「せんだいメディアテーク・メールニュース」
(メール配信／毎月／登録者2,442名)
「せんだいメディアテーク・オンライン」(映像／毎月／ウェブサイトに公開)
ウェブサイト(アクセス総数1,342,436件)

+

6-4

その他常備している印刷物

総合案内(日本語版／英語版)
総合案内(目や耳の不自由なかたへ)
総合案内(車椅子アクセス)
貸出施設利用案内
せんだいメディアテーク建築ガイド(日本語版／英語版)
3がつ11にちをわすれないためにセンターってなに？(日本語版／英語版)
smtデザインのひみつ

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

2025年度イベント一覧(時系列)

※開始日のみ掲載

4/13	ワークショップ	仙台たてももの観察ウォーク―石・彫刻・建築― 定禅寺通り編
4/19	上映、トーク	とっておきの音楽祭 25周年アニバーサリー・キックオフイベント 映画オハイエ!無料上映会
4/20	トーク	とっておきの音楽祭 25周年アニバーサリー・キックオフイベント スペシャルライブ
4/21	展覧会	[わすれん!]まちなかの距離感―2011年と2020年の仙台―
4/27	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第36回公開ミーティング
4/29	その他	smtオープンカフェ 春
5/4	トーク	[アート・ノード]仙台で考える 水俣のこと、能登のこと
5/6	ワークショップ	第95回てつがくカフェ「評価と共感のあいだにあるもの ―ほめること、認めること―」
5/16	ワークショップ	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス《新浜ペリスコープ》の制作
5/17	展覧会、その他	第41回仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)
5/17	ワークショップ	[アート・ノード]ワケあり雑がみ部
5/18	ワークショップ	手ではなすおはなしの会・春
5/24	展覧会、その他	ミニ展示「結婚の定義」メッセージ募集―「結婚式」に思うこと教えてください!
5/31	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第37回公開ミーティング
6/1	上演	第24回とっておきの音楽祭2025
6/7	トーク	「ずんだと牛タン」 ―ばくに仙台のことを教えてください―
6/8	トーク	トークイベント: キャラ婚した人と考える「結婚式とは?」
6/14	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「まなびを考える会」
6/21	上映	映像の仙台史5
6/28	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第38回公開ミーティング

7/2	その他	メディアテーク de ちびばーく
7/5	ワークショップ	てつがくカフェ読書会『爆弾と紙のランドセルと白いごはん』から、〈戦禍の日常〉について考える」
7/6	上映、トーク	みやぎシネマクラドル 第21回映像サロン 「そして生きていく—難病ALS当事者 さまざまな暮らしの工夫—」
7/6	ワークショップ	手ではなすおはなしの会ミニ(「にこにこ赤ちゃん・えほんの広場」内)
7/14	トーク	[アート・ノード]難民・移民と協働するアートセンター イギリス、カウンターポインツ・アーツ
7/19	上演、トーク	JOZENJI STREETJAZZ CARAVAN —QUEST— w/ バイヤー高橋
7/26	トーク	[アート・ノード]アートは見るもの?アートと言葉をめぐる旅
7/26	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「愛とか恋とか推してなんだ?ゆるっとはなそう」
7/27	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第39回公開ミーティング
8/3	トーク	[アート・ノード]アートノード・ミーティング13 アートプロジェクトは、ポリティカルコレクトネスか?
8/5	その他	smtオープンカフェ 七夕ひろば
8/5	その他	オン・ディスプレイ(川俣正)
8/6	その他	たてものかんたんガイド(七夕ひろば)
8/9	上映、トーク	ドキュメンタリーが開く世界 —みやぎシネマクラドルの10年とこれから—
8/30	ワークショップ	手話読み聞かせステップアップ講座
8/30	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第40回公開ミーティング
8/31	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「しりたい・まなびたいにこたえる図書館ツアー」
9/12	上演	第34回定禅寺ストリートジャズフェスティバル(メディアテーク会場)
9/20	上映	ショートピース!仙台短篇映画祭2025
9/20	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「みんなでつくるミュージカル」
9/21	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第41回公開ミーティング
9/28	ワークショップ	[アート・ノード]大縁会

9/29	トーク	[アート・ノード]アートノード・ミーティング 14 東北・北海道の「アートプロジェクト」の現場から考える
10/1	展覧会	たてもの観察帖-東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)・電力ビル・仙台市役所
10/8	上映	リシャール・コパンス『せんだいメディアテーク』ふたたび
10/11	その他	マンガテーク
10/13	ワークショップ	手ではなすおはなしの会・秋
10/15	上映	ゆるゆるシネマ「マイスマールランド」(音声解説・日本語字幕つき)
10/18	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第42回公開ミーティング
10/19	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「ストレス・疲れを軽くしよう!わたしたちのコーピング」
10/28	その他	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス《新浜ペリスコープ》お披露目会
11/1	展覧会	もうひとつの森 「なにもしない」からはじめるメディアテーク
11/1	その他	オン・ディスプレイ(志賀理江子)
11/1	ワークショップ	社会実践ポストボン「ご飯を食べるプロジェクト」 (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/1	トーク	オープニングセレモニー (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/1	その他	SDLも特になにもしないcafe (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/8	ワークショップ	仙台たてもの観察ウォーク-石・彫刻・建築- 市街地編 (展覧会「たてもの観察帖-東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)・電力ビル・仙台市役所」関連)
11/8	上演	あそびとまなびの森 スウプノアカデミア-みんなでつくるミュージカル- (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/9	ワークショップ	第96回てつがくカフェ「わたしのなかにある戦争」 (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/11	ワークショップ	よーし・えんぐみcafe(「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)

11/15	ワークショップ	活版ワークショップ「カードにひらがなを印刷してみよう」 (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/16	トーク	6階ギャラリー ミニトーク(「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連)
11/21	上映	100年／Imagination
11/21	その他	中学生がえらぶ、まちの記憶
11/24	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第43回公開ミーティング
11/24	ワークショップ	スウプノアカデミア2025「新発見・再発見!北仙台を気ままに散歩」
11/24	展覧会、ワークショップ	o+h サプライズギャラリーツアー (「もうひとつの森 〈なにもしない〉からはじめるメディアテーク」関連企画)
12/6	ワークショップ	シネバトル トークサロン
12/18	上映	ゆるゆるシネマ「PLAN 75」(音声解説・日本語字幕つき)
12/20	展覧会、ワークショップ	ミュージアムユニバース
12/20	その他	たてものかんたんガイド(ミュージアムユニバース)
12/21	トーク	トーク「なぜたてものや街角にあるものを見ているのか」 (展覧会「たてもの 観察帖-東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)・電力ビル・仙台市役所」関連)
12/23	その他	smtオープンカフェ 冬
12/27	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第44回公開ミーティング
1/5	トーク	耳活朗読会『星の王子さま』
1/9	トーク	せんだいリポート リペアの権利、バラシの倫理
1/10	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第45回公開ミーティング
1/14	ワークショップ	たてもの観察ツアー 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)編 (展覧会「たてもの 観察帖-東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)・電力ビル・仙台市役所」関連)
1/17	展覧会	[アート・ノード]資源でつくるコミュニティ「ワケあり雑がみ部」のひみつ展
1/17	トーク	[アート・ノード]「雑がみ」雑だんタイム

1/30	展覧会、ワークショップ	第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」 (としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示、図書館はじめてツアー)
1/31	トーク	共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台 (第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」内)
2/1	ワークショップ	手ではなすおはなしの会 2026・冬 (第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」内)
2/3	ワークショップ	図書館はじめてツアー (第8回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」内)
2/7	ワークショップ	シネバトル トークサロン
2/14	ワークショップ	第97回てつがくカフェ 「いま、あらためて結婚の定義について考える」
2/15	ワークショップ	小さなゆうわ座 暮らしの中で聞く 語る—丸森の語り手 佐藤秀夫さんのこと
2/18	その他	メディアテーク de ちびばーく
2/19	上映	ゆるゆるシネマ「さよならくちびる」(音声解説・日本語字幕つき)
2/22	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第46回公開ミーティング
3/3	展覧会	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス 報告展 2025
3/7	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第47回公開ミーティング
3/8	その他	せんだいデザインリーグ2026卒業設計日本一決定戦 公開審査
3/8	展覧会	せんだいデザインリーグ2026卒業設計日本一決定戦 作品展示
3/11	展覧会	[わすれん!]星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—
3/14	トーク	[わすれん!]星空と路トークプログラム「書きのこすこと、読み解くこと」(展覧会「星空と路」関連)
3/15	ワークショップ	第98回てつがくカフェ 「経験を〈記録〉するということ」
3/21	上映、トーク	みやぎシネマクラドル 第22回映像サロン「被災地の願いと揺らぎを考える」
3/28	トーク	Unbroken 傷ついても壊れてはいない

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

8

8-1 施設概要

所在地：仙台市青葉区春日町2番1号

敷地面積：3,949㎡

構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建

延床面積：21,682㎡

総工費：約130億円

設計：株式会社伊東豊雄建築設計事務所

・開館時間

せんだいメディアテーク：9時から22時まで(階により異なる)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：9時30分から20時まで
(土曜・日曜・休日は18時まで)

・休館日

せんだいメディアテーク：保守点検日(1月から11月までの第4木曜日)、年末年始(12月29日から1月3日)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：月曜(休日を除く)、休日の翌日、保守点検日(1月から11月までの第4木曜日、ただし休日に当たるときは開館しその翌日が休館)、年末年始(12月28日から1月4日)、特別整理期間

・お問い合わせ

Tel: 022-713-3171 Fax: 022-713-4482

Web: www.smt.jp/

E-mail: office@smt.city.sendai.jp

企画・活動支援室 Tel: 022-713-4483

映像音響ライブラリー Tel: 022-713-4486

バリアフリー Tel: 022-713-4484

・主な施設内容

地下2階 書庫、収蔵庫、機械室

地下1階 駐車場、書庫

1階プラザ(定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ)

2階ライブラリー(映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧、目や耳の不自由な方の相談カウンター)

3・4階ライブラリー(仙台市民図書館)

5階ギャラリー 3300(固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間)

6階ギャラリー 4200(可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間)

7階スタジオ(施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ)

・組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課

指定管理者 公益財団法人仙台市市民文化事業団(図書館は仙台市直営)

館長：ロバート キャンベル

副館長：天野美紀

アーティスティック・ディレクター：甲斐賢治

管理課長

総務係長…総務係4名(係長含)

施設マネジメント係長…施設マネジメント係7名(係長含)

情報資料係長…情報資料係11名(係長含)

企画・活動支援室長

企画事業係長…企画事業係4名(係長含)

活動支援係長…活動支援係6名(係長含)

地域文化アーカイブ係長…地域文化アーカイブ係7名(係長含)

(44名 令和7年[2025年]7月時点)

8-2 沿革

平成元年(1989年)宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。

平成4年(1992年)定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。

平成6年(1994年)市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。

平成7年(1995年)設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。

平成9年(1997年)12月着工。

平成12年(2000年)8月竣工。

平成13年(2001年)1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理(図書館は仙台市直営)。

グッドデザイン大賞受賞。

平成16年(2004年)仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。

平成19年(2007年)業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。

平成20年(2008年)館内フロアレイアウトを一部変更。

平成23年(2011年)開館10周年。地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。

5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

平成25年(2013年)館長に鷺田清一(哲学者)が就任。

令和3年(2021年)開館20周年。

令和4年(2022年)照明設備等の改修工事を実施。

令和7年(2025年)館長にロバート キャンベル(日本文学研究者)が就任。

8-5 仙台市メディアテーク条例

次ページ以降に掲載。

8-3 収支

令和7年度	
(1)収入の部	
指定管理料	657,339 千円
事業収入(企画事業、受託事業を含む)	51,587 千円
《内訳》	
・補助金	33,059 千円
・各種助成金	3,700 千円
・入場料等	234 千円
・受託事業収入	0 円
・仙台市市民文化事業団自主財源	2,891 千円
・負担金収入	11,703 千円
(2)支出の部	
管理運営費(施設の維持管理、情報サービス事業を含む)	
	657,339 千円
事業費(企画事業、受託事業を含む)	51,587 千円

8-4 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日(週)数／開館日(週)数	日(週)数ベース利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	45 / 48	93.8%	92,583
6階ギャラリー	週	38 / 49	77.6%	74,564
オープンスクエア	日	208 / 338	61.5%	57,568
スタジオシアター	1日3区分	178 / 327	54.4%	15,808
2階会議室	1日3区分	295 / 347	85.0%	3,700
7階会議室	1日3区分	337 / 346	97.4%	8,055
プラザ控室 a	1日3区分	151 / 348	43.4%	652
プラザ控室 b	1日3区分	168 / 348	48.3%	1,233
託児室	1日3区分	13 / 348	3.7%	50

使用料等徴収額 62,131 千円

*5 / 6階ギャラリーは週数ベース

平成一二年三月一七日
仙台市条例第二三号

(設置)

第一条 様々な記録媒体(以下「メディア」という。)による情報を収集し、保管し、及び提供して、市民の自主的な情報の検索、閲覧、記録、発信等の活動を支援するとともに、美術・映像文化の創造又は普及の場を提供し、もって市民の生涯学習の振興に資するため、メディアテークを設置する。

(名称及び位置)

第二条 メディアテークの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
せんだいメディアテーク	仙台市青葉区春日町二番一号

(事業)

第三条 メディアテークは、次に掲げる事業を行う。

- 一 メディアを活用した生涯学習及び文化活動に係る情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発に関すること
- 二 美術・映像に係る情報・資料の収集及び提供に関すること
- 三 美術・映像に係る展覧会、講習会その他の催しに関すること
- 四 美術・映像に係る作品の展示又は上映のために施設を提供すること
- 五 視聴覚障害者の情報活動支援に関すること
- 六 その他第一条の目的を達成するために必要と認められる事業

(使用の許可)

第四条 別表に掲げるメディアテークの施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 メディアテークの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

(使用料)

第五条 メディアテークの使用料は、別表に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

3 前項の規定にかかわらず、駐車場の使用料は、出庫の際、納入しなければならない。

(平一五、七・改正)

(使用料の額の特例)

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。)は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりメディアテークの施設を使用できないとき
 - 二 市長が別に定める期間内にメディアテークの施設の使用の取りやめを申し出たとき
- (平一五、七・追加)

(使用料の返還)

第六条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一五、七・改正)

(使用料の減免)

第七条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第八条 使用者は、許可を受けた目的以外にメディアテークを使用してはならない。

(平一五、七・改正)

(使用権の譲渡等の禁止)

第九条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又はメディアテークの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(指定管理者)

第十一条 教育委員会は、メディアテークの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にメディアテークの管理を行わせることができる。

(平一六、三・全改)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十二条 前条の規定により指定管理者にメディアテークの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一 第四条第一項の許可に関する業務

二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務

三 メディアテークの維持管理に関する業務

四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第四条及び第十条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一六、三・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十三条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にメディアテークの管理を行わなければならない。

(平一六、三・追加)

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一六、三・旧第十二条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成一二年九月規則第一〇二号で、附則第二項の規定は平成一二年一〇月一日から施行)

(平成一二年一二月規則第一二六号で、平成一三年一月二六日から施行)

(仙台市視聴覚教材センター条例の廃止)

2 仙台市視聴覚教材センター条例(昭和四十七年仙台市条例第二十六号)は、廃止する。

附 則(平一五、七・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平一六、三・改正)

この条例は、平成十六年四月一日から施行する。

附 則(平二八、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成二十八年十月一日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則(平三一、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)

2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表(第四条、第五条関係)

(平一六、三・平二八、三・平三一、三・改正)

一 各室の使用料

イ ギャラリー

使用区分	金額(一日につき)
五階ギャラリーa	二八、五〇〇円
五階ギャラリーb	二八、五〇〇円
五階ギャラリーc	二八、五〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcの隣接する二室を同時に使用する場合	五二、九〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
六階ギャラリーa	三九、七〇〇円
六階ギャラリーb	三九、七〇〇円
六階ギャラリーa及び六階ギャラリーbを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
備考	
一 一、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合(第四号に規定する場合を除く。)の使用料は、この表に定める額の二倍とする。	
二 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもって入場料の額とする。	
三 五階ギャラリーa、五階ギャラリーb又は五階ギャラリーcのいずれか一室を二分して使用する場合の使用料は、この表に定める	

額の二分之一とする。

四 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

六 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第一号又は第四号に規定する場合にあっては、当該各号の規定により定める額)の二分之一とする。

ロ プラザ

使用区分		金額(一日につき)
プラザ	入場料を徴収しない場合	六一、一〇〇円
	入場料を徴収する場合	一二二、二〇〇円
備考		
一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいう。		
二 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。		
三 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。		
四 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第二号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分之一とする。		

ハ スタジオシアター及びその他の施設

使用区分		使用時間	午前(午前九時～正午)	午後(午後一時～午後五時)	夜間(午後六時～午後九時三十分)
スタジオシアター	入場料を徴収しない場合		五、五〇〇円	七、三〇〇円	九、一〇〇円
	二、〇〇〇円以下の入場料を徴収する場合		一一、〇〇〇円	一四、六〇〇円	一八、三〇〇円
	二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合		一六、五〇〇円	二二、〇〇〇円	二七、五〇〇円
プラザ控室 a			二二〇円	三〇〇円	三〇〇円
プラザ控室 b			三〇〇円	四〇〇円	四〇〇円
二階会議室			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
七階会議室 a			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円

七階会議室b	一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
託児室	六一〇円	八一〇円	一、〇〇〇円

備考

- 一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもってこの表の入場料の額とする。
- 二 次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。
 - イ 午前九時から午後五時まで 午前の欄及び午後の欄に掲げる額の合計額
 - ロ 午後一時から午後九時三十分まで 午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
 - ハ 午前九時から午後九時三十分まで 午前の欄、午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
- 三 この表に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前九時以前又は正午から午後一時までのときは午前の欄に、午後五時から午後六時までのときは午後の欄に、午後九時三十分以降のときは夜間の欄にそれぞれ掲げる額を時間割して計算した額(百円未満の端数が生じたときは、これを百円に切り上げる。)とする。この場合において、その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 スタジオシアターを物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合の額とする。
- 五 スタジオシアター以外の施設を物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合(ギャラリー、プラザ又はスタジオシアターの使用を伴わない場合に限る。)の使用料は、この表に定める額の三倍とする。
- 六 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 七 スタジオシアターを準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第四号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。

二 駐車場の使用料

一台につき、駐車時間一時間当たり三百円を超えない範囲内で教育委員会が定める額